銀河戦国群雄伝 10

ライ

真鍋譲治

Dengeki Comics EX

DE-5-10

発行
メディアワークス
発売
主婦の友社

銀河戦国群雄伝ライ 10

真鍋譲治

BOOK·OFF

1910979009500

ISBN4-07-301569-9

C0979 P950E

発売●主婦の友社　発行●メディアワークス　定価950円(本体922円)

DENGEKI COMICS EX

フォーチュン・クエスト①②	迎　夏生COMIC 深沢美潮STORY
エンジェルアーム①～④	衣谷　遊
ダンジョン・マスター	栗橋伸祐
電撃摩陀羅海賊本①	田島昭宇原作 with MADARA PROJECT
MADARA赤 LASA①～③	田島昭宇
MADARA壱①～④	田島昭宇
MADARA転生編	田島昭宇
MADARA外伝死海のギルガメシュ	花津美子 with MADARA PROJECT
幼稚園戦記まだら①②	義見依久 with MADARA PROJECT
聖痕のジョカ①②	大塚英志原作 相川　有作画
銀河戦国群雄伝ライ①～⑩	真鍋譲治
イース⑤～⑦	羽衣　翔
電撃丸(コミックアンソロジー)①	衣谷　遊・夢来鳥ねむ・MEIMU他
KISS	MEIMU・今関あきよし・大嶋拓 COMIC STORY WORDS
緋翔伝 幾千の月のかけら①②	夢来鳥ねむ
魔狼王烈風伝①～③	沢田　翔
メビウスクライン⓪	麻宮騎亜
卒業～グラデュエーション～コミック傑作選	内野文吾他
卒業～グラデュエーション～ HAVE A GOOD DAY	真行寺たつや
しろー駄作劇場	しろー大野
ダークマドンナ	荒俣　宏原作 柴田文明作画
サムライスピリッツ覇王丸地獄行	しろー大野
外伝・待魂	山本よしふみ・矢上裕他

DC EX

銀河戦国群雄伝ライ

10

真鍋譲治

DE-5-10
発行
メディアワーク
発売
主婦の友社

DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics
DengekiComics

RAI

BY JOJI MANABE

10

銀河戦国群雄伝

●ARTIST
JOJI MANABE

●EDITOR
NAOAKI ARAKAWA
YOSHINARI FUJITA
ANRI KOMATSU

●BOOK DESIGN
TETSUYA ASAKURA

●SPECIAL THANKS TO
MASAHIKO YAMASHITA
HIROYUKI HIRAYAMA
YOSHIKI MORISHITA
TOSHIMICHI OKITA

戦国の銀河を生き抜く群雄たち

【竜我雷】りゅうがらい

本編の主人公。その度胸と悪運の強さを狼刃に買われて一兵卒より師団長に抜擢され、五丈軍先鋒として南天に雪崩込む。南天軍の前線を突破するや、大暴れして要衝座王都に一番乗りを果たし、その勇名は敵味方に響き渡る。退却戦において正宗に一騎討ちを挑むが破れ、瀕死の重傷を負うが、その傷が癒えぬうちに、元宮廷勢力による反乱の鎮圧に出動し、たちまちのうちに制圧する。その功により騎都尉に昇進、国境の要衝南京楼に大守として赴任する。初めて地盤を得た雷は、その地で希代の天才、師真を自軍に軍師として迎え、また、皇室の娘紫紋を妻に迎えるや、すぐさま中央に反旗を翻し、挙兵する。

【雲海入道】うんかいにゅうどう

雷の長年の戦友。かつては高僧に仕える身分でもあったが大酒飲みが仇で宗門を追われた破戒坊主。だが雷にとっては最も頼りになる豪傑である。終始、雷と行動を共にし、右腕として活躍する。雷の密令を受け、暴政下の武王都に残り、麗羅の保護を依頼される。

【太助】たすけ

雷と同郷であり、幼い頃から雷を兄として慕う。その小さな体に似合わず、雲海と共に各戦場を転戦、修羅場をくぐり抜けた強者でもある。この度の偽帝討伐戦においては、帝都斉王都奥深く潜り込み、師真と図って、敵謀将骸延の失脚を画策するなど、身軽さを生かした活躍が光る。

【大覚屋師真】だいがくやしし

南京楼の豪商大覚屋の放蕩息子。普段は酒色に溺れ、甚だ評判が悪い。だがその知謀たるや史書、経書から兵法、天文、医学に精通した天才的な戦略家である。自分自身もその知謀で天下を動かすことを夢み、並みいる諸侯からの度重なる招きを全て固辞し、時を待つ。やがてその南京楼に雷が赴任、紫紋に横恋慕した師真は、城に出入りし、次第に雷に傾倒していく。雷挙兵時には、軍師としてその才覚を余すことなく発揮する。

【紫紋】しもん

敗将阿曹王禅の一人娘。皇室の血を引く唯一人の王女故に悲しい運命にもて遊ばれる悲劇

の娘である。実の父阿曹主禅を雷に殺され、五丈に身柄を引き取られ、恩賞として敵でもある雷の元に預けられる。だが雷とはそれを乗り越え深い愛情を寄せ合う。その後も雷を陰日向に支えていく気丈な娘である。

孟関（もうかく）

冷静で勇猛な剛将で、南征以後、常に副官として経験不足の雷を適切に補佐する。歴戦の強者であり、その豊富な戦歴に裏打ちされた知識を基に、よく雷を助け、その覇業に重きをなす。

三楽斎（さんがくさい）

南京楼軍の武将。主人運が無く、自分の出世のために各赴任地を転々とする。その処世術のために孟関らにはよく思われていないが、彼自身極めて有能な官僚であり、弁舌の才をもって雷を補佐し、外交、内政面において活躍する。能吏派軍人。

鐘士元（しょうしげん）

南京楼軍の武将。雷の師団長時代以来の宿将。勇猛果敢、常に先鋒を受け持ったが、師真のような新参者とは反りが合わず、常に対立するが、初戦において師真の知謀を認め、その指揮下に入る。

姚文（ようぶん）

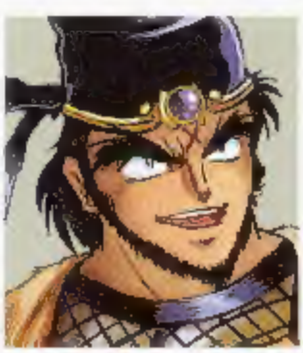
南京楼軍の武将。鐘士元らと共に雷の股肱の臣である。やはり師真らとは合わなかったが、その命には逆らわず、よく戦い、髄羅討伐の前哨戦を勝利に導く。

項烏（こうえん）

南京楼軍の勇将。南天との国境近くに根拠を持ち、部下二千を従える大海賊。やがて雷の度量の大きさに感服して一族郎党共々帰順、齢七十になんなんとするが、水を得た魚のように活躍する。

項武（こうぶ）

項烏の息子で怪力無双の暴れ者。八十斤はあろう大斧を片手で軽く振り回す豪傑である。父と共に雷に帰順し、その武勇を買われ、常に先鋒を任される。多分に深慮遠謀が欠けるところもあったが、千軍万馬の強者である。



林則嘉（りんそくか）

南京楼軍の謀臣。若い頃は風采も上がらず誰

にも相手にされずにいたが、城内に出入りしているうちに師真に見出され、雷輔翼の人物として師真と双璧をなす。天才肌の師真に対して、地味ながらその誠実さをもって数々の献策をし、雷の地盤の発展を図る。だが師真の唱える「覇」には疑問を持つ。

【大覚屋英真】だいがくやえいしん

師真の四つ下の弟で、大覚屋の跡取り。兄師真のような縦横無尽の才略には欠けるものの、その思慮深く、篤実な人となりで多くの人に一目置かれた。父の後を継ぎ、雷を財政面で強く援助する。

【骸羅】がいら

五丈四天王の一人。身の丈2㍍以上の体格と怪力の持ち主。一騎当千の武将で各地を転戦、弾正の死後、対立する玄偉、鳳鳴二将を切り、覇羅を立てて全権を掌握、ついには皇帝の座も手にする。その政治は悪政を極め、宮廷内は酒池肉林の世界と化し、五丈の民に塗炭の苦しみを強いることになる。

【骸延】がいえん

骸羅三兄弟の末弟。武勇一辺倒の兄達とは違い、華玉と共に李張の元で学んだ知謀の士である。兄骸羅の武勇を背景に天下取りを画策し、覇羅を担ぎ上げ五丈中枢を乗っ取る。また、練との秘密軍事同盟を締結、正宗を失脚させる。骸羅の帝位簒奪で丞相に就任するが、師真の反間の計により失脚させられてしまう。

【骸山】がいざん

骸羅三兄弟の次兄。兄骸羅と共に幾多の戦場を渡り歩いた武人であり、無双の剣の使い手である。骸羅軍きっての猛将だったが、骸羅討伐に立ち上がった南京楼軍との戦いで、雷に討ち取られる。

【武倒国】ぶとうこく

偽帝骸羅軍の武将。旅順陥落後、討伐軍の指揮官として出陣。大堡屯に堅陣を敷き、南京楼軍

を迎撃する。善戦するものの、師真の策に破れ、斬首される。

【麗羅】れいら

男勝りの五丈の王女。弾正という強大な権力を背景に我がまま し放題である。雷には興味を持ち、紫紋とよく対立し、反乱の罪をかぶせて殺そうともした。弾正の死後、骸羅と結び五丈を乗っ取る。

【狼刃】ろうは

五丈四天王の一人。知勇を兼ね備えた女将であり、雷の才能を早くから見抜き、その行く末を暖かくかつ厳しく見守る。女傑正宗に刺

激され、南天進攻の先鋒を買って出て雷にその先陣を任し、麾下の第二軍を率いて南天に雪崩込む。敗戦の責任を取らされるが後復職。雷に南京楼赴任を勧め、時を待つように諭す。骸羅の親政中に、軍最高司令官である大元帥に就任。雷との師弟対決が迫る。

【五虎将軍】ごこしょうぐん

西羌国境を守備する五人の猛将たち。精鋭軍ではあったが、決してその守備位置を動くことは許されなかった。しかし、南京楼軍の急進撃によって。急遽、狼刃の指揮下に入る。

〈上段右より、征西将軍・白鬼、鎮西将軍・王政、下段右より、牙門将軍・亮厳格、安征将軍・武備、平西将軍・魏相如〉

【羅候】らこう

練国国王。父羅鶴の死後、兵権を受け継ぐ。最初は南天の大国、智に従属していたが、徐々に勢力を広げ正宗にも一目置かれる存在になる。南蛮王国王女、邑峻を嫁取り、その地盤を強固なものにする。正宗の北伐時には、隙を突き、南帝閣を占拠、虎丸を智王に立て正宗の失脚を図る。

【邑峻】ゆうしゅん

南蛮王琥瑛鴛洲の一人娘。羅候とは許婚の仲である。南蛮王国との連携を強めるために羅候の元に輿入れする。百人に及ぶ女兵士を従えるなど相当なじゃじゃ馬ではあるが、花嫁修行は熱心だった。得意料理は七色餃子のてんこ盛り。

【姜子昌】きょうしそう

練国きっての名将。若くして、練軍の大都督に任じられ、羅候を補佐し練国の発展に尽力する。正宗による早期銀河統一を阻止するべく画策、幼王虎丸を立てて正宗を失脚に追い込むのに成功する。

【蹄庖】ていほう

練の若き武将。姜子昌の右腕とも言われるのが参軍校尉蹄庖である。知勇に秀でて、智、五丈、南蛮に囲まれた羅候を助け、奮闘する。

【玄偉】げんい

五丈四天王の一人で辣腕の謀臣。帝国崩壊後の戦乱の中、元帝国側の有力な武将であったが、早くに帝国の再興に見切りを付け、弾正側に寝返り、弾正に重く用いられる。髄羅の反乱の際、華玉、鳳鳴共々、殺害されたと思われていたが、某所での生存が、髄延の知るところとなる。

【華玉】かぎょく

玄偉の腹心。李張道師の高弟でその秘められた力で玄偉に適切な助言をする。弾正の死期を予測し、玄偉を天下人にするため、同じく髄羅の知恵袋の髄延としのぎを削る。髄羅の反乱の混乱時に、玄偉と共に消息不明。

【蘭々】らんらん

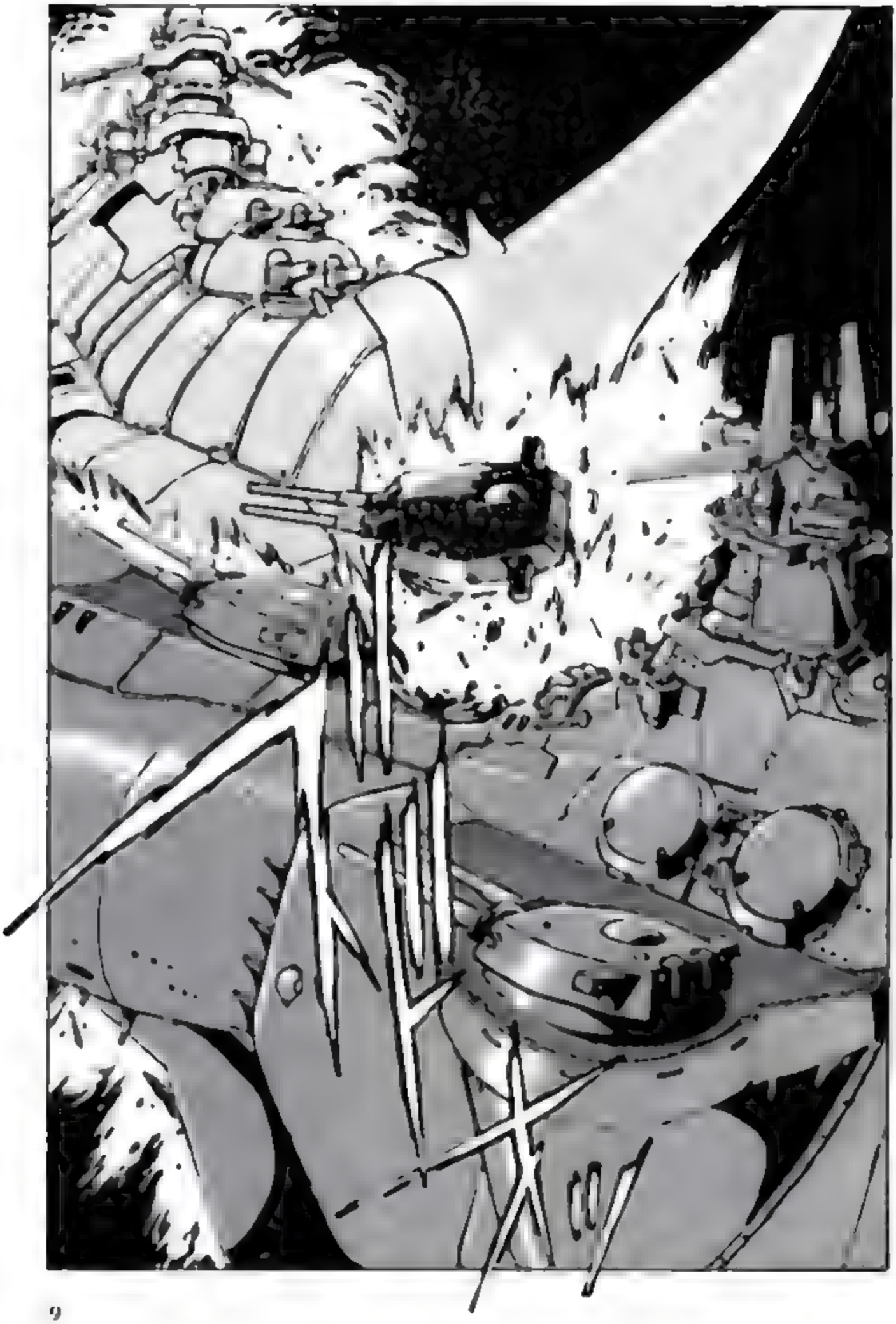
華玉の妹。共に李張の元で学ぶ。道士としての能力は未知数だが、今は紫紋の元で身の回りの世話をしている。幼い割りにはしっかりしていて、荒くれ者の印象がある雷の元に嫁ぐ紫紋の身を案じていたが、今では雷を少しは見直したようである。

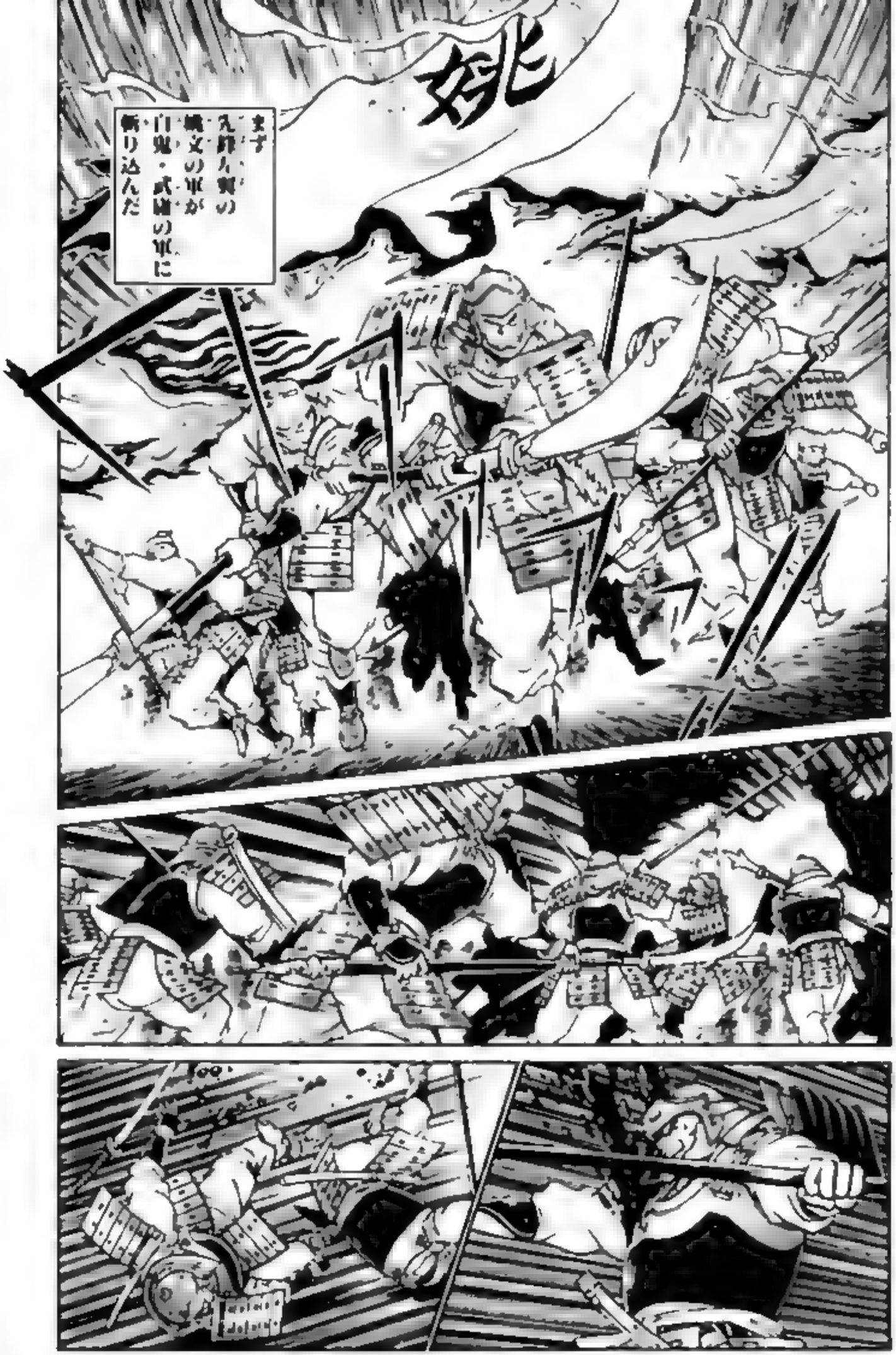
【独眼竜正宗】どくがんりゅうまさむね

父先代正宗の死後、弟虎丸を擁して智の国の国政を司る。女将ながらその戦略、行動力で、南天連合軍の盟主として五丈の南征を頓挫させた。戦後、南天の統一に専念。事実上、それを成し遂げる。しかし、その後の北伐中に、練の陰謀による造反が勃発、失脚する。

【虎丸】とらまる

正宗の弟。智の嫡子である。国政、軍事を姉である正宗に全て任せているが、正宗の命により、練の羅候との修好のために義兄弟の契りを結ぶ。北伐の際、正宗失脚のために智王に祭り上げられる。




対比
まず
九鬼九鬼の
織文の軍が
白鬼・武蔵の軍に
斬り込んだ

どりゃあっ!!
大将!
大将はこの艦におらぬか!!
いたら出てこい!
相手いたす!!
まていっ!!
ガッ!!
こざかしい
賊軍のネズミが
何をほさく!
五虎将の一人か!!
この艦の主て
五虎将が一人
白鬼将軍の副将
王峰!
見知ったか!!

何だ 副将なんぞには 用はないわ！
帰れ帰れ 帰って五虎将の 一人でも 連れてこい！
はざくな 下郎めが〃
そんな腕で 何が副将だ！

ああっ!!
王嗤様が斬られた!!
退け!
退け――っ!!
艦内に戻れーっ!!
よし!
追い討ちをかけいっ!!
待ていっ!!
こんな艦捨ておけ!
五虎将の将旗が掲げられた艦を捜せ!!
一方 先鋒右翼の魏十元の一軍も五虎将の王政・亮毓格・魏相如率いる軍団と激しいつばぜり合いを続けていた

ゴゴゴゴゴゴ
狙うは五虎将の首！
雑魚にかまうな！五虎将の旗艦を捜せ!!

鐘士元様
左前方に
大型戦艦!!
何いっ!!
我は
五丈牙門将軍
亮厳格!
賊将!
出られよ!!
おお
あの旗印!
まぎれもなく
五虎将軍!
待ってたぜ!!

南京楼軍
先鋒 鐘士元！
泣く子もだまる
独眼竜とは
俺のことだ
覚えておけいっ!!
けっ
きさま如きに
独眼竜を
名乗られたら
正宗が
泣くわ！
たわけが!!
ほざいたな！
たたっ斬って
くれる!!
わはは
胸を貸して
やろう
来いっ!!

ついくぜー!!

ええいっ
雑魚は
下がれ!!
大将を
出せいっ!!
威勢が
いいな
鐘士元!
亮厳格
相手いたすぞ!!

おおっ
出てきたな!!
船ん中に隠れて
髭の風でも
取ってるかと
思ったぞ!
むん!!

ふん!!
南京楼先鋒と
五丈五虎将との
闘いは
灼熱の炎の中
果てることなく
繰り広げられた

そのころ
項武率いる
第二陣は
第一線の闘いの
推移を見守っていた
第一陣……
先鋒が崩した
陣線を突破し
敵本陣に雪崩込む
決戦部隊で
あった
ヴ――っ
まだか
まだか！
何やってんだ
二人とも!!
落ち着いて
下され
項武様
ここが勝敗の
分かれ目で
ございますぞ
わかってる!!
動いて
汗をかくのは
がまんできるが
……
これでは
蒸し風呂だぜ！

おおっ
敵の旗印が
乱れています！
何っ!?
敵の前線
崩れたものと
思われます！
よ――し!!
待ってたぜ
この時を!!
突っ込め
――っ!!

渦を持していた
軍武軍は
腕を切った
怒号の如く
最前線に
突入した！
いけいけ
いけ――っ”

やるな
亮厳格！
さすが
五虎将と
呼ばれることは
あるな！
ふん！
おまえとの
格の違いを
見せてやるわ！
将軍！
王政・魏相如
両将の軍が破られました
ここは退いて
前線を立て直すとの
連絡です！

むん！
うおっ!!
勝負は後日!!
者ども退け――っ!!
あっ待ちやがれ!!

退けっ!!
後方で体勢を立て直す
速やかに退け――っ!!
五丈軍は項武軍の接近を知るや急速に前線を縮小し総退却となった!
敵は崩れたぞ一気に敵本陣まで押し込むぞ!!
項武様敵前線総崩れです!
よしいいぞ!いよいよ俺様の出番だ!!

楊文・
鐘士元・
項武の二将は
勢いにまかせて
追撃を開始した
だが
その急激な
進撃のために……
雷率いる
本陣との間に
大きな隙たりが
できていた
のである

しかも
項羽と……
孟獲の
二将も
退路を断つために
出撃しており
宙の本陣は
護衛戦隊程度の
全くの無防備状態に
なっていた
将軍
先鋒は
敵最前線を
突破！
追撃戦に
入りました！
よし！
一気に
押し崩すぞ！

……
どうした
林！
まだ心配か？
敵は
混乱している
大軍とはいえ
崩れれば
もろいもんだ
将軍
軽挙妄動は
お慎み下さい
戦は
敵を知ることが
肝要です
将軍は
敵将・狼刃元帥を
よく知って
いらっしゃるはずです
む……
元帥の用兵は
今まで戦ってきた
敵将とは
雲泥の差があります
しかも
我が将兵は
五虎将ばかりに
目を奪われて
います！

我々の敵は
五丈軍でも
五虎将でもない
狼刃元帥
ただ一人なのてす
そうだったな
……
速戦を
望んだばかりに
気が急いていた
ようだ
左紘より
鑑影!!
急速
接近中!
何っ!!
!!
たかが
伏兵だ!
討ち取れ!!
いや……
あれは……

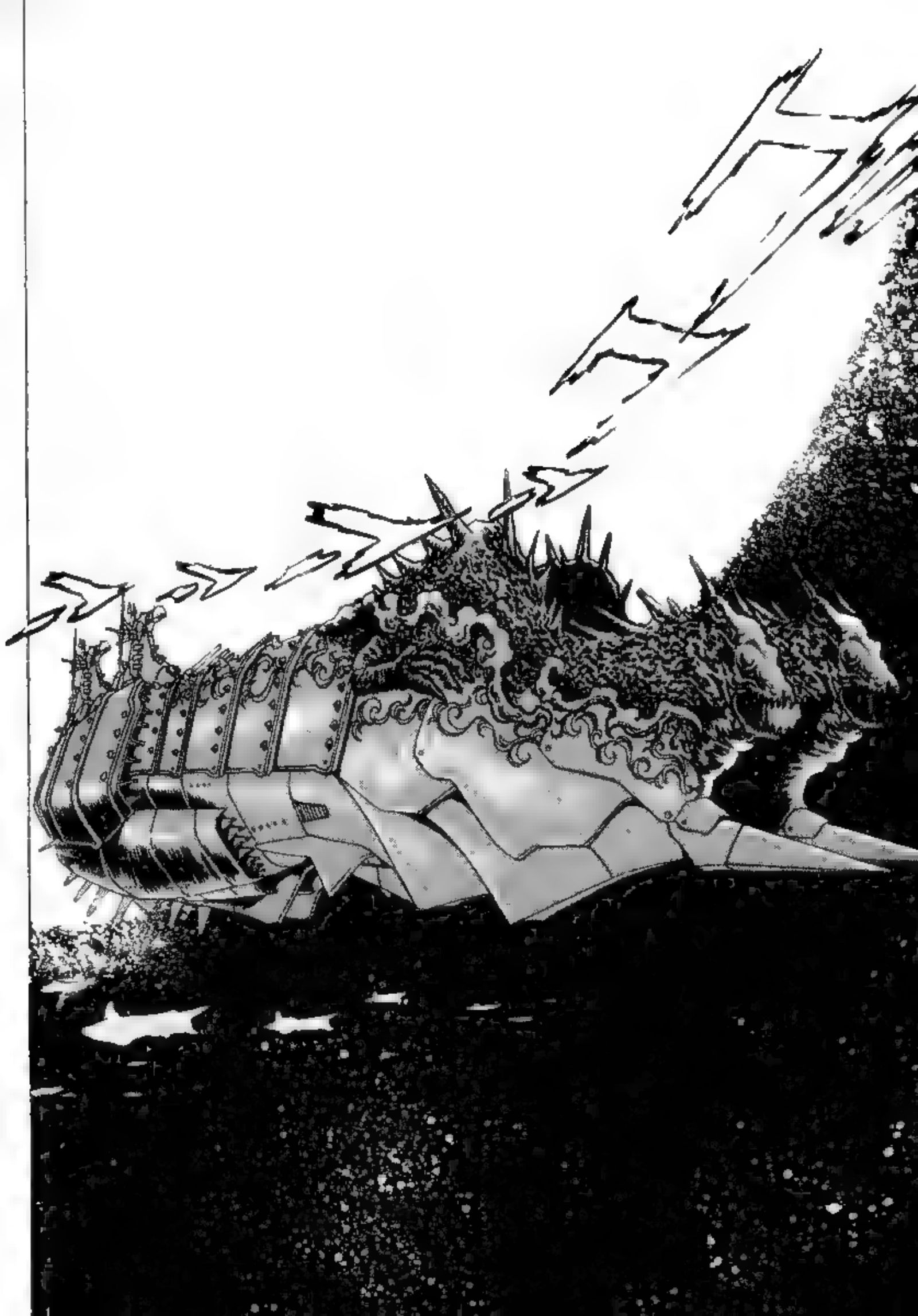
"師"の旗印…!?
て…敵旗艦です!!

狼刃元帥…!?

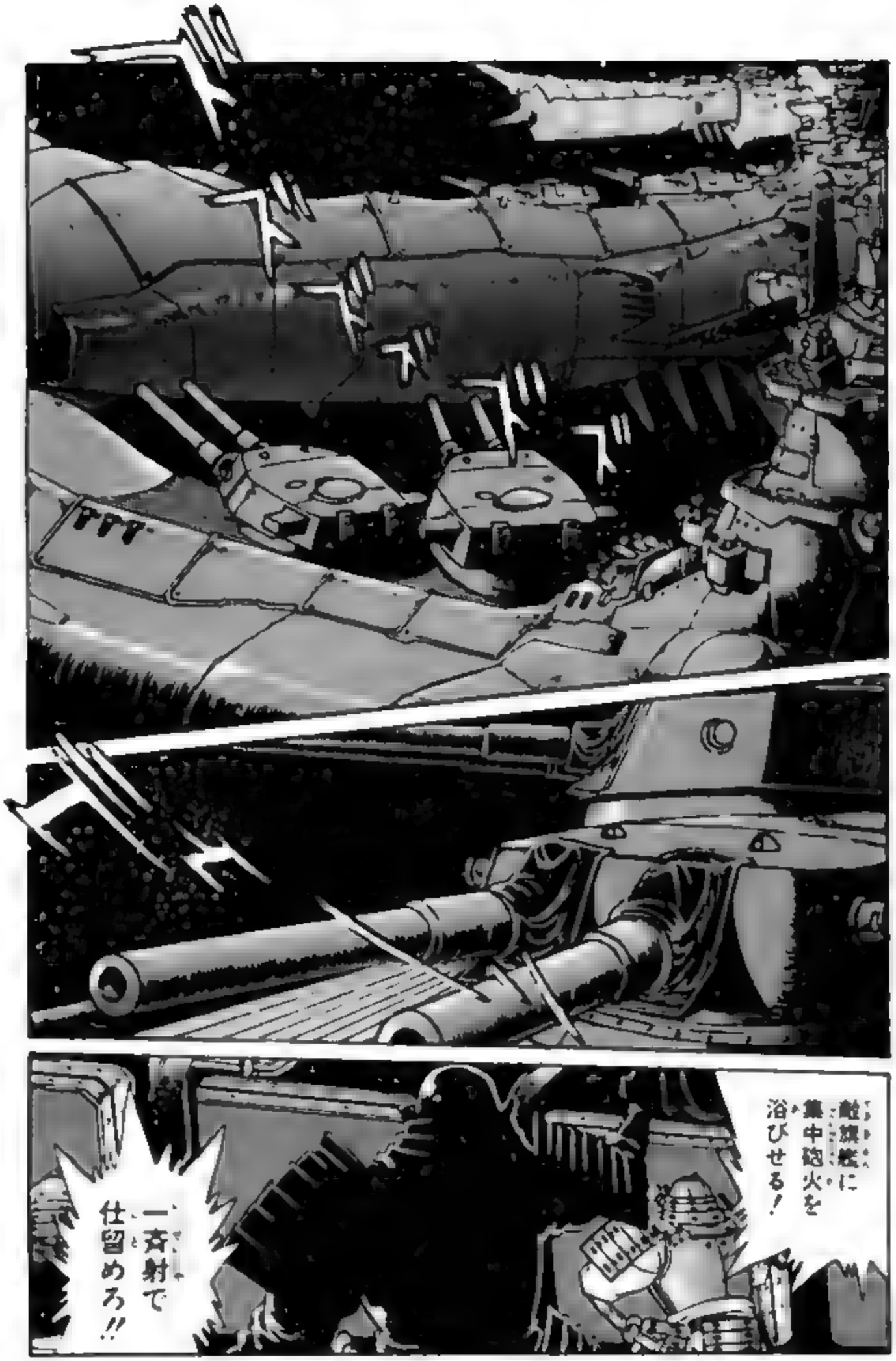
その時
雷の身体に
冷たい汗が
走った…！
自分の本陣が
置かれている
立場に気づいた
のである！
今 自分の
供廻りは
わずか八千足らず
……
相手は
少数の伏兵
とはいえ
狼刃自らの
指揮である…！
雷は
自分の作戦が
根底より
崩れさるのを
感じた！

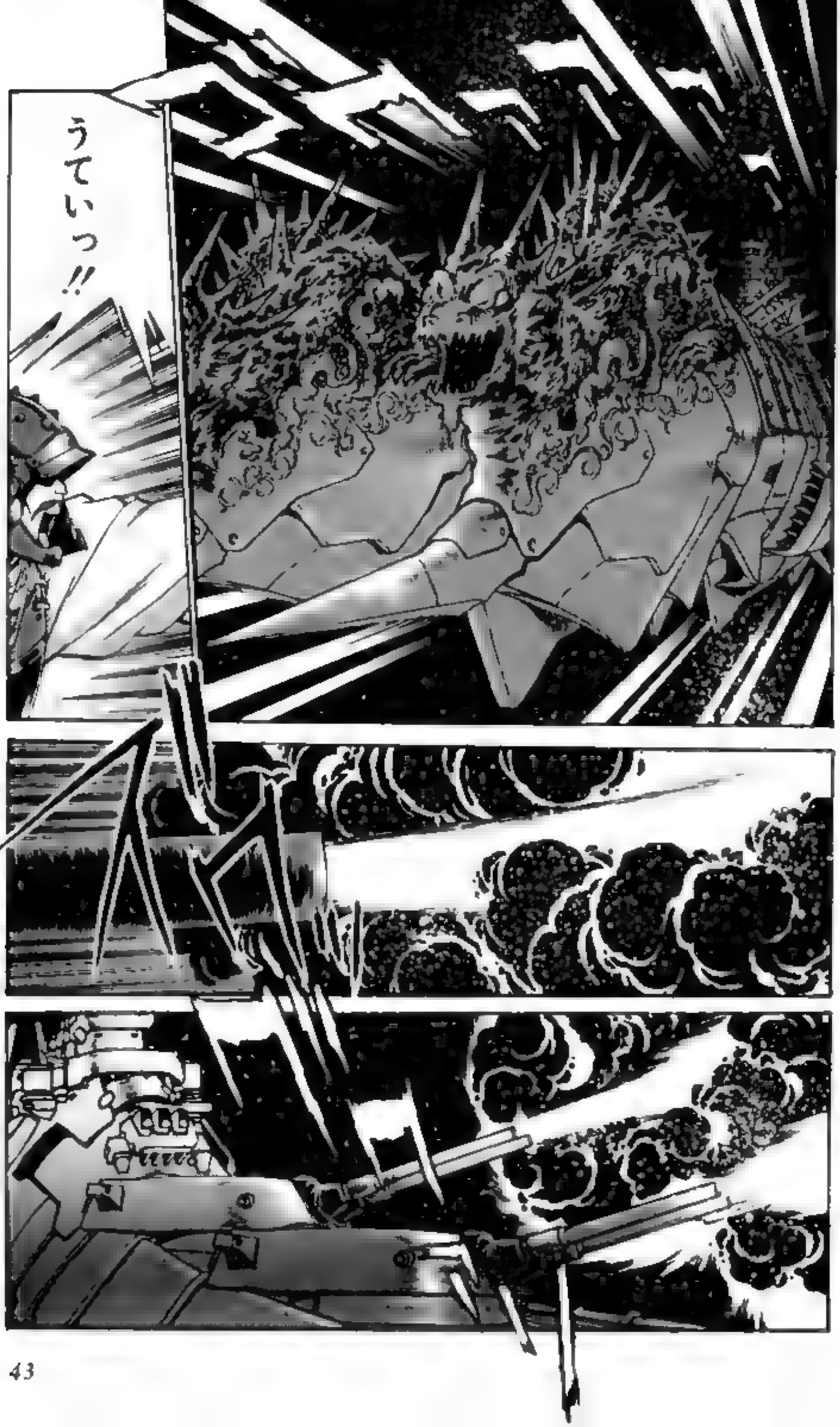
雷(ライ)…！
まだまだ甘(あま)いな…!!

狙うは
賊将竜我の
首!!
奴の旗艦
金剛以外は
目もくれるな!
行けい
っ!!

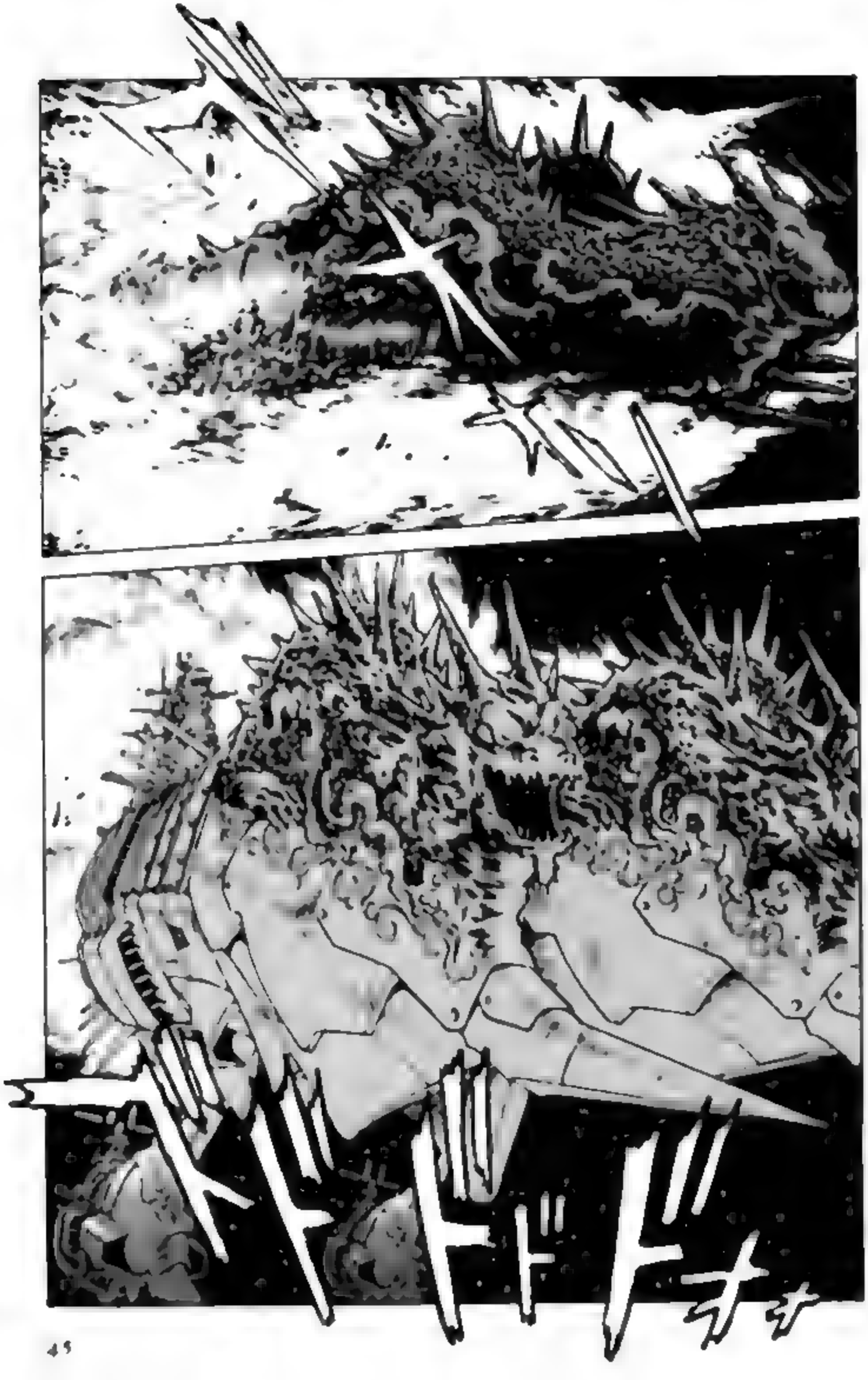


敵艦隊
急速接近!!
中央に超大型戦艦!
左右にくさび形陣形
後方にも同陣形が
多数!!
狼刃元帥…!!
何をしておる!
このままじゃ本陣まで突破されるぞ!!
迎撃態勢を取れ!


敵旗艦に
集中砲火を
浴びせる！
一斉射で
仕留めろ!!


うていっ!!

命中!!
敵旗艦を仕留めたぞ!!
げっ!!



貫通していない!?
装甲が厚すぎる!!
右左にかまうな!!突進!!
怯むな撃ち続けろ!
ここで阻止するのだ
うわわあっ!!

雷!!
であえ！
勝負だ!!
敵旗艦
まっすぐ本艦に
向かってきます！
うろたえるな！

元帥が
一騎討ちを
望んでるんなら
こっちだって
不服はねえ
堂々と受けて
立ってやる！
前進だ！
旗艦に
乗り込むぞ!!
いけません
将軍!!
何？
林！
軽挙妄動は
なりませぬと
先程申し上げた
ばかりです！
命を
お捨てになる
おつもり
ですか!!

命令を
変更する!!
各艦
即戦闘を中止!
本艦に続いて
速やかに戦場から
離脱せよ!!
!
!!
林
てめえっ!!
どーいう
つもりだ
これは!!
聞いて
いらっしゃった
でしょう
逃げるんです!!
逃げる〜〜〜!?
この俺に
元帥の前で
尻尾丸めて
逃げろって
いうのか!!
将軍!
逃げるのは
恥ではありません
私は
軍師代理
として
最善の方法を
お勧めして
いるのです!

きいた風な口をきくな!!
いいか林則徐!元帥は武人として俺との勝負をつけに来たんだ!!
それを……同じ武人であるこの俺がどーして知らん顔できるか!!邪魔をするな!!
将軍は天下統一の大業を忘れたのですか!!
何いっ!!
天下統一を目指すのなら武人の名誉などと小さいものはお捨てなさい!
将軍は生き残らなくてはならんのです!
だまれ!!

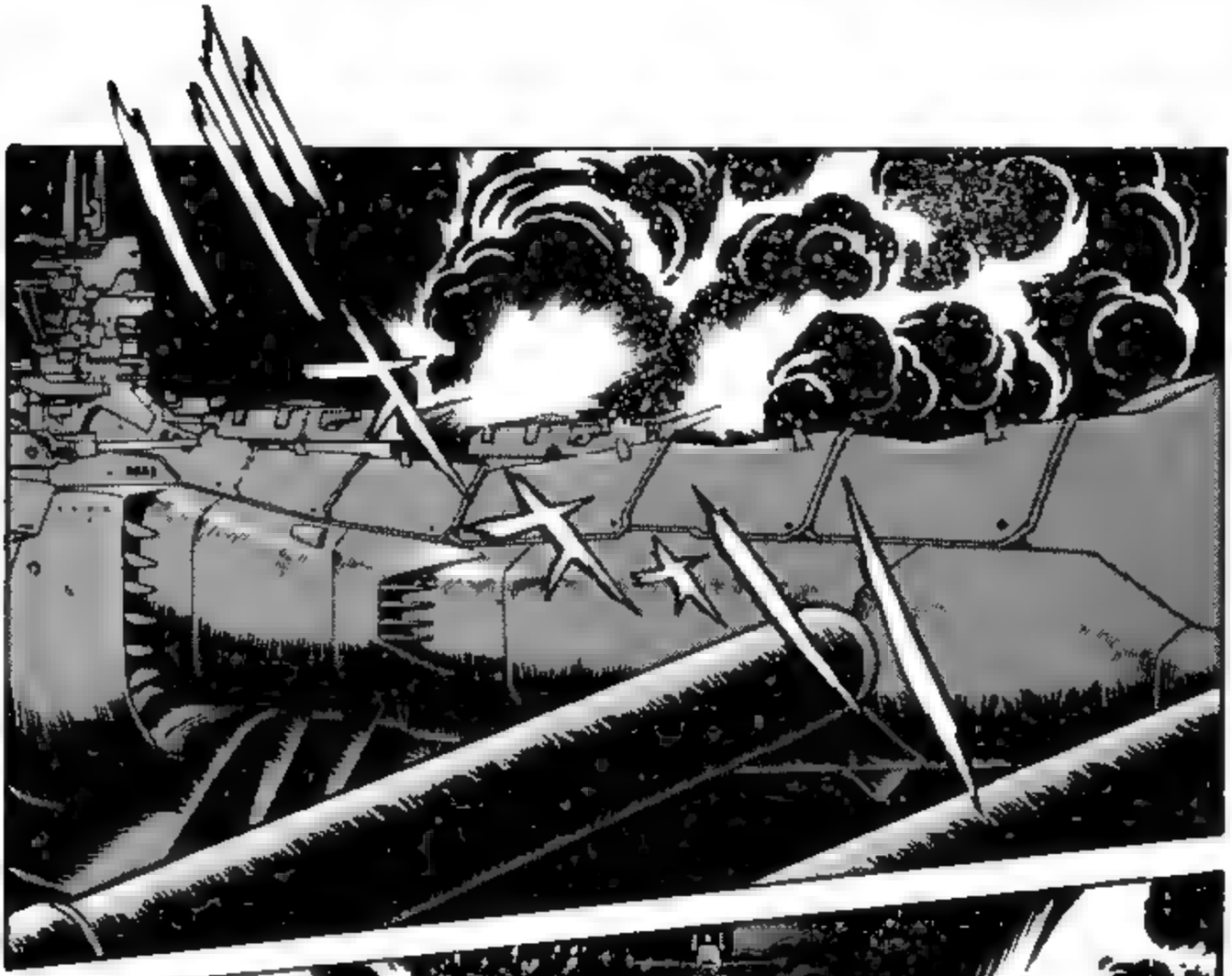
かまわん！
突っ込め！
敵旗艦に
乗り込むぞ!!
一気に勝負を
つけるんだ!!
!!
将軍
逃げて下さい！

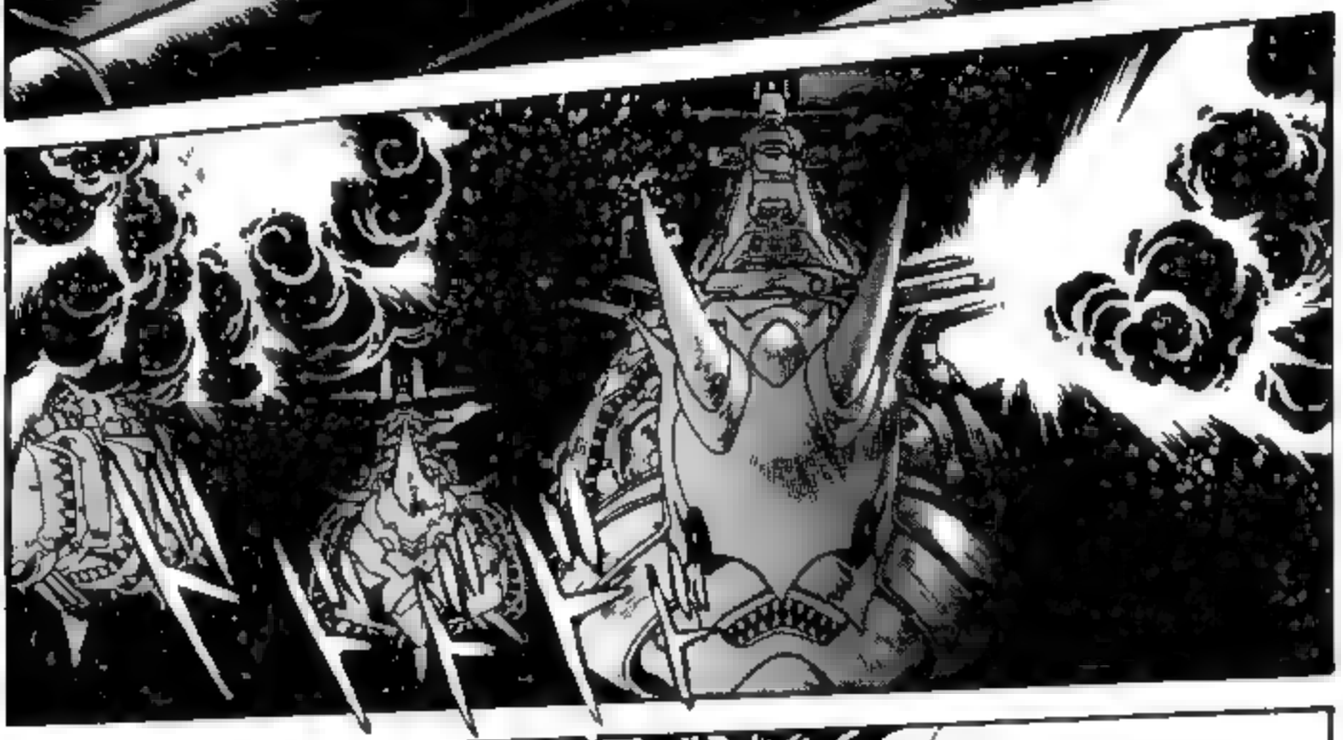
くどいぞ林!!
これ以上とめ立てするなら容赦しねえぞ!!
離せ!!
いいえ離しません!
臣下になった以上将軍が死にに行こうとしてるのを止めぬわけにはいかないんです!!
俺が死ぬだと!?
ああ確かに狼刃元帥は強えよ!!
だがやってみなきゃわかんねえだろ!!
おまえも言ったじゃねえか敵は狼刃元帥一人だってよ!!
さすがは元帥見事な策です我々は孤立し先鋒軍も恐らく重囲に陥るでしょう
その策の仕上げが将軍との一騎討ちなんです!
将軍は一騎討ちでこの事態を打開しようとしています!
それこそ元帥の策にさらに深くはまることになりますぞ

将軍
ご決断下さい…!!
明日のために
今日の屈辱に
耐えて下さい!
……
わかった
……
この場から
脱出しよう
……!

将軍!!
お……
お聞き入れ
ありがとう
ございます!!
無礼のほど
平に
お許しを…!!
もう
喋うな
林!
おまえの話の方が
筋が通っていた
それだけの
ことだ

狼刃様
敵旗艦金剛以下
残存艦隊
突っ込んで
きます！
ふふ……
窮鼠猫を噛む
というが
所詮鼠は鼠だよ
雷…！
敵艦隊
針路を変えました
我々の左翼を
通過するつもりです！
距離開きます!!
何っ！
しまった
反航戦で
突破する
つもりか!!
撃て
逃がすな!!





もしあの場で
反転して
逃げ出したら
追撃され
振り切らない限り
砲弾の雨を
被り続けることに
なります
しかし
反航戦なら
すれ違う間しか
砲撃をくわない
敵が追おうと
しても
反転に時間が
かかります

なるほどな
突っ込むと
見せて
裏をかいたわけか
後は後方を
迂回して
離脱します
追え!
最後尾艦より
反転!!
逃がすな!!
急げ!!
!!

な…何だ これは…!?
賊軍のか!?
ええい 構うな!
竜我を逃がすんじゃないぞ!!

これは
師真と林川孟が
密かに準備していた
即席のいわば
巨大な機雷である

損傷し
戦闘能力も
航行能力も
失った廃艦に……
これまた
使用期限の切れた
弾薬を満載して
いたのである
狼刃軍の
艦隊は隊列を乱し
組織的な行動が
不可能となった
大魚を
逃しましたな
残念です
ふふ……

何がおかしいのです？
いやな……あの雪がわたしの一騎討ちの誘いに乗らずに逃げようとはな……
そんな決断ができるようになったのか……雪……
成長したようだね
その頃本陣が壊滅状態になったのも知らず項武たち南京楼の将は逃げる九虎将を追い敵本陣にせまっていた
くそっ敵の大将はどうしたんだ本陣なんかどこにもねえぞ
項武様一大事です!!

どうした？
ただ今の入電によりますと味方本陣に狼刃自ら兵を率いて突入！本陣は壊滅いたしました！
な…何いっ!!
本陣が…!!
竜我将軍はかろうじて脱出！
我々にも早々に引き揚げよとのことです!!
くそうっっここまできていて!!
今回は敵に完全に裏をかかれておりまする！
そうなるとここでどのような備えがあるやもしれません!!
項武さま!!敵艦隊現れました!!
大軍です！
おおっ!!

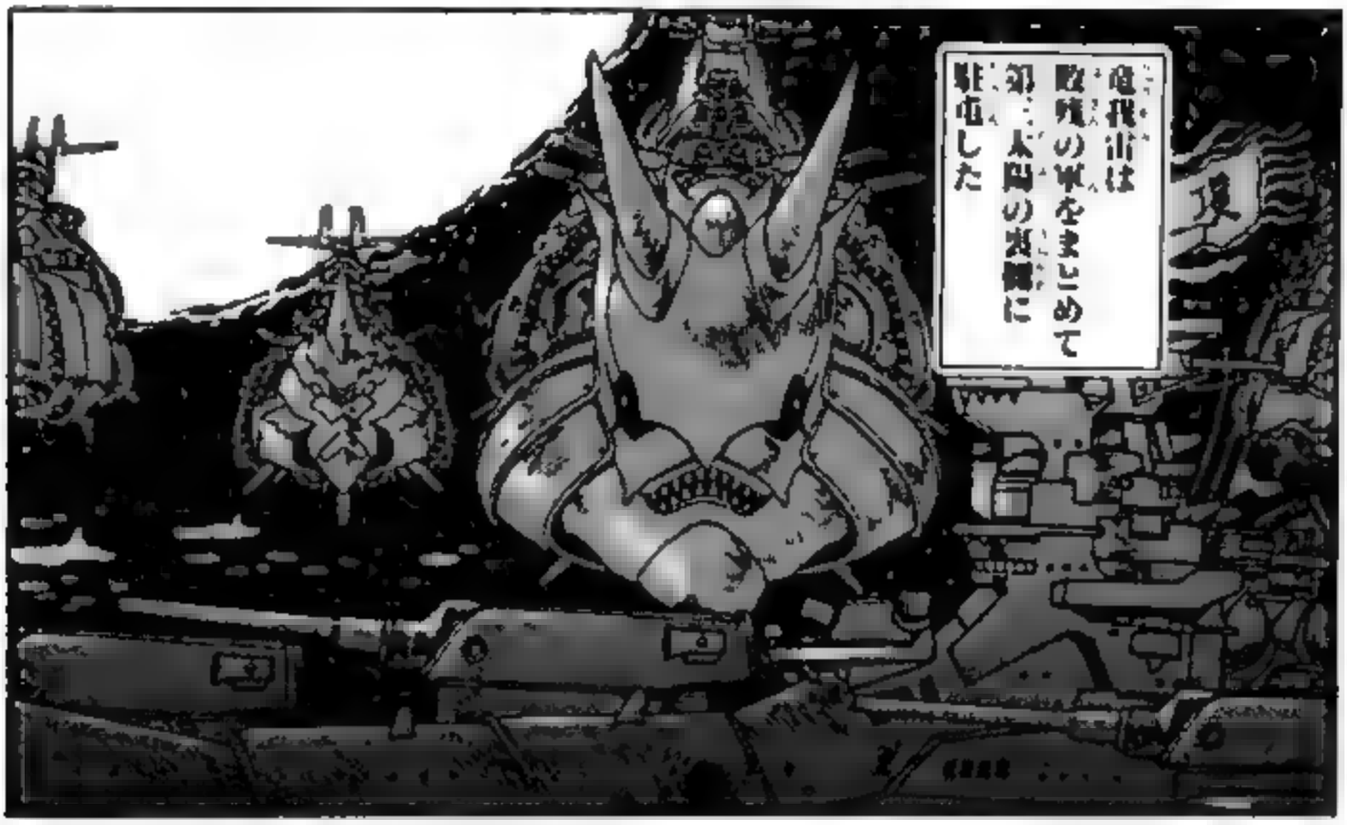
あれは
五虎将の一人
白鬼！
わはは
調子に
乗りおって！
ここが
きさまらの
墓場だ!!

しゃらくせい
切り抜けて
引き揚げるしか
ねえぞ!!
項武様!
新たに
敵軍が
現れました!!
ぐっ

これは
鍾士元や
姚文の軍も
同じだった
二人とも
必死に奮戦したが
五百万ともいわれる
圧倒的な敵の
物量の前では
勝ち目のない
戦いだった
くそーっ
計られたか!!
軍とも
追われ
討ち滅らされ
次々と
灼熱の溶鉱炉に
追い落とされた

おおっ!!
くそうっ
やつら兵力を
温存していたな
このままでは
先鋒軍が
全滅する!!
急げ
助けるのだ!!
項武よ!!

しっかりせえ!
ここが
ふんばりどころ
だぞ!!
おおっ
親父か!!
孟臣・川島の
指揮によって
人はかろうじて
包囲を突破した
だが
それは
惨憺たる
敗北であった
戦死だけでも
千数を入っていた


竜飛山は
敗残の軍をまとめて
第二太陽の裏側に
駐屯した

今回は
俺の油断と
用兵のまずさで
みんなに
えらく苦労を
かけちまった

すまんと
思っている
そんな…将軍
勝敗は兵家の常
っていいます
しかも相手が
狼刃元帥なら
なおのこと
お気になさらんで
下さい
そうだ
そうだ！
それより
これからの
ことを考え
ましょう
そうだな
まだ戦いが
終わったわけ
じゃない
艦も半数を失い
兵の損失は
負傷兵も含めて
6 7割りに
達してます
しかも
この炎熱に
消耗
しきってる
ここは
一旦兵を退いて
後方で態勢を
立て直すのが
賢明だと考えますが
それがしも
同感です
お待ち下さい
兵を退くことは
なりません！

林！
将軍！
狼刃元帥は
この金州海で
雌雄を決しようと
してるんです
いわば
正に天下分け目の
正念場でしょう
もしこの地を
放棄すれば
我々の全面敗北と
みられるでしょう
今まで付き従っていた
諸侯は全て寝返り
我々は南京楼で
枕を並べて討ち死にです
みなさん！
弱気に
ならないで
下さい
我々が苦しいときは
敵も同じく
苦しいはず！
条件は同じなんです
そうだな
まだ一回戦
だからな
そーいう
ことだ
師真は……

師真なら
どうすると思う
林？
将軍
軍師様から
一つだけお知恵を
授かっています
将軍が窮地に
陥ったときに
渡すよう
申しつけられ
ました
師真が？
雷は
食い入るように
師真の書を
読んだ
将軍

狼刃率いる偽帝軍は
確かに我が軍に比べて
勇将・私特数多く
兵力は強大である
正にこの戦いは
至強をもって至強に
当たる
厳しいものだ
だが
我が軍には
敵にないものがある
それは〝天下統一〟
という
何ものにも勝る
大義だ

勝っても
わずかばかりの
思賞にありつける
たけの
敵軍に対して
我々の勝利は
将軍の……
ひいては我が全軍の
無限の可能性に
結びつくことになる
俺はささやかながら
ある策を実行する
詳細は林に聞くがいい
現在地を死守し
敵に動揺の兆しが見えたなら
そのときに機を失わず
攻勢に転じよう……
師真……!!
元帥!
敵の電文を
多量に
入手しました
暗号か?
いえ
慌ててるようで
全て平文です
陽華群にいる
軍師にあてて
ですが……
陽華群?

その軍師とやらは南天国境にいるのではなかったのか？
いえしかし確かに軍師あてに……助けを求める内容が多いですし
陽華群……
ただの田舎町だ……戦略的には何の意味もない……
なぜあの男が陽華群に…!?

元帥
なぜ兵を進めませぬ
我が軍はすでに
破竹の勢い
一気に片が
つきましょう
白鬼の申す通りです
竜我は戦意を
失っております
なお金州海に
留まっているのも
損傷艦が多く
動こうにも
動けないからでしょう
乳臭い
書生軍師なんぞ
気にすることは
ございません
……

雷の軍師
大覚屋師真……
味方の苦戦を
知りながら
何故遠い陽華郡に
……
奴の真意は？
雷の意を受けての
行動か……？
それとも……

南天国境に向かった
というのは偽情報だと
わかっていた
それ故
あたしは
先の戦いで
深追いは
避けたのだ
あの男なら
必ず伏兵を
配しておった
だろう
だが奴は
いなかった……
味方の苦戦を
尻目に
陽華郡で
このあたしを破る
策を実行しようと
しているのだ
閣下
それは考えすぎ
では…！
その軍師を
買い被って
おられますぞ
さよう
たまたま緒戦は
つきがあって
奇策が成功したに
すぎませぬ
ご心配なら
誰か一将を
向かわせましょう
ほどなく捕らえ
られましょうぞ
はっはっはっ
その前に
竜我の首も
落ちておろう

竜我の様子は？
はっ 第三太陽の裏に集結……動いておりません
陣形は？守備を固めているのか？
いえ 整然と突撃態勢を維持しております
あそこまで叩かれてもまだ戦意が残っているのか
恐らく軍師の策とやらに全幅の信頼をよせているのだな
閣下！新たな情報です！
！
大覚屋師真なる軍師！陽華郡に到る以前に計八郡に渡って目撃されております
何だと!?

どことどこだ見せてみろ！
はっ
!!
閣下。いかがなされました!?
元帥閣下！

読めた
奴の策が…!!
将軍は
いまだお戻りに
ならぬよう
だな
はあ
もはや戦局の
大勢は決まったのに
何を話し合って
おられるのだろう
さっさと片づけて
この炎熱地獄と
お別れしたい
ものよ
師団長様!!

こ…こら
ここはきさまら
兵卒の来るところ
ではない!!
師団長様に
聞いてほしい
ことがあるだ!
ええい
何だ
申してみよ!
へえ
聞くところに
よると
敵の軍師が
陽華郡に
おるとか……
むう
きさまらの
耳にも入って
おるのか……
それが
どうした
おまえたちには
関係ない!
そうは
いかねえだ!
陽華郡には
うちの家族が
いるだ!
敵の軍師とやらは
何十万という人間を
里ごと焼き尽くしたと
聞くだ!
そげな
恐ろしい男が
家族の近くに
おるっちゅうだけで
気が気でねえだ!
女房子供を
逃がして
やりてえ!

おねげえしやすだ！わしらを国元に帰して下され！
な……
このままじゃ家族が焼き殺されるだ――っ!!
な…ならんわ！バカ者!!勝手に兵が軍を離れてどうして敵軍を討てようか!!
軍罰がいやなら持ち場に戻れ――っ!!
そんな殺生な……あんた様には家族がおらんのか!!
だまれ!!
これ以上軍紀を乱す奴はゆるさん!!
命令に従わねば斬る!!

副長！
艦内で流言を
流す奴は
見つけ次第
殺せ！
軍務を
放棄してる
奴もだ！
はっ
うっ!!
な 何だ
おまえたち！
なぜ刀に
手をやる!!
わしらは
こんな戦より
家族の方が
大事じゃ
わしら好きで
兵隊に
なったんじゃ
ねえ！
天子様の命令
じゃったから
仕方なくじゃ!!

お…おのれ
きさまら…!!
ぐわ――っ!!
し、師団長!
こ、この
裏切り者めが!!
ぎゃあっ!!
みんな
こんな船
乗っ取っちまうだ!!
これで
国に帰るぞ!!

ヤ――ッ!!
これを見よ!!
陽華郡を始めとする八郡は人口が我が五丈の中でも多い地方だ!
弾正公の南征失敗によって我が軍は兵員不足に泣いておった
それ故大帝が根こそぎ動員をかけてここから数多くの兵士を徴発したのだ
公称五百万の軍勢も六割方はその新徴者で占められておる……

敵の軍師は
それでわざわざ
この八郡を
目立つように
行軍したのだ
河東袴軍師
いかにも
そこで
策を張ってると
思わせるように
な……

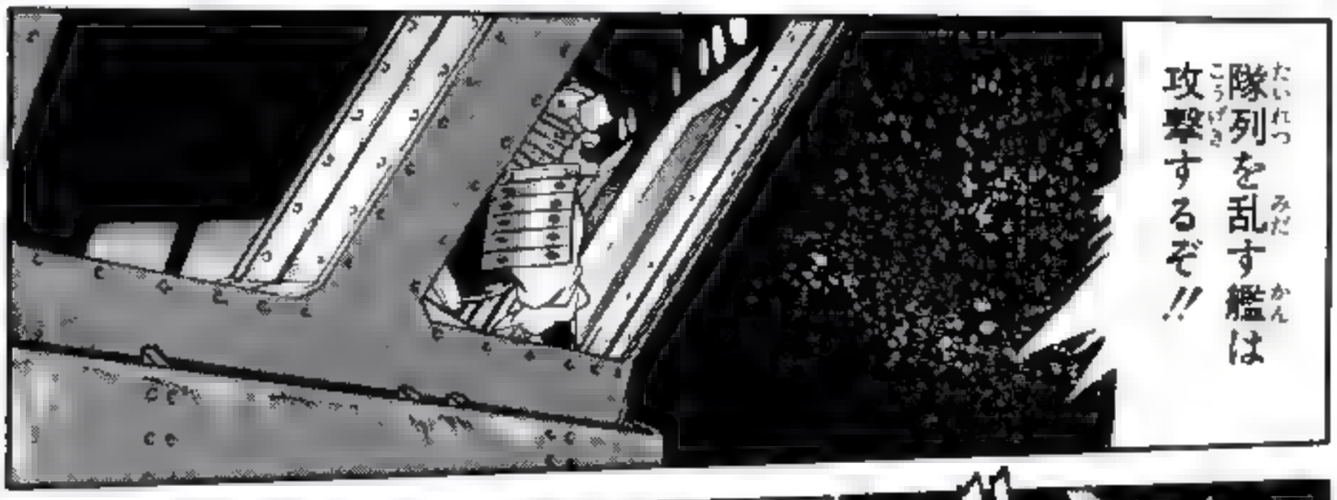
奴が
五十万の兵士を星ごと
焼き尽くしたのは
全五丈に
知れ渡っている……
このことが
耳に入ったら
全軍が動揺しよう！
それが狙いだ!!

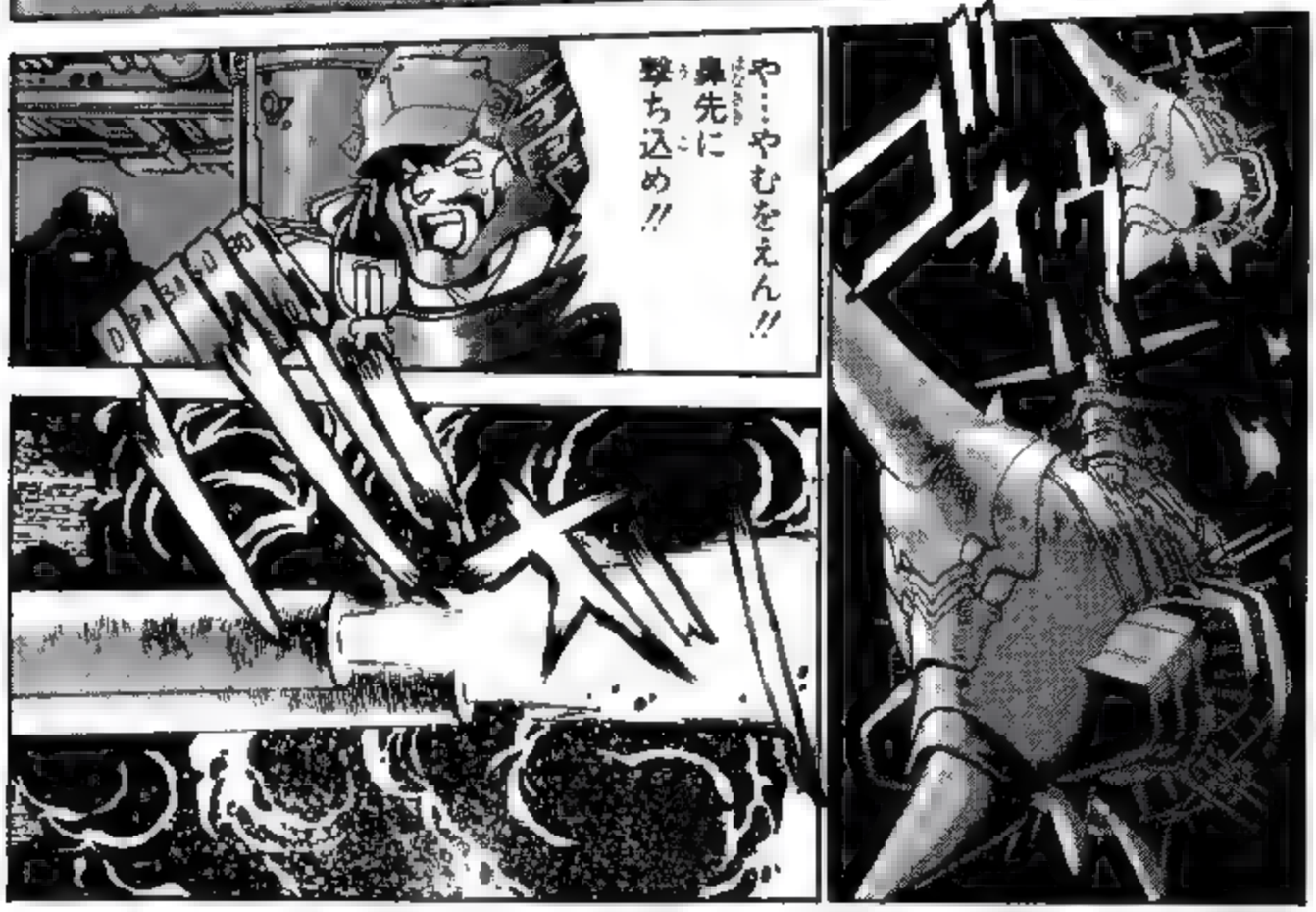
局地で
破れようとも
このわたしを
金州海に
釘付けにし
大局で
我が軍全体を
崩壊させようと
している！

……
おまえたちは
一刻も早く
各々の軍に
戻って
兵を掌握せよ!!
ははっ
ただちに！

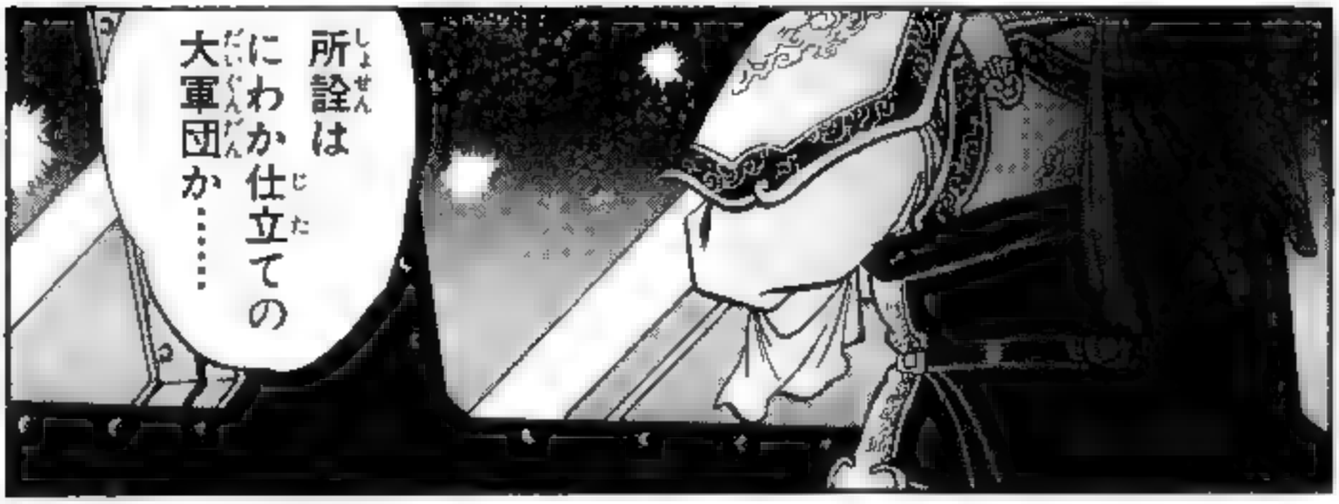
一大事でございまする!!
申し上げます!
左翼右翼ともに
騒ぎが起きて
おりまする!!
何いっ!!
遅かったか…!

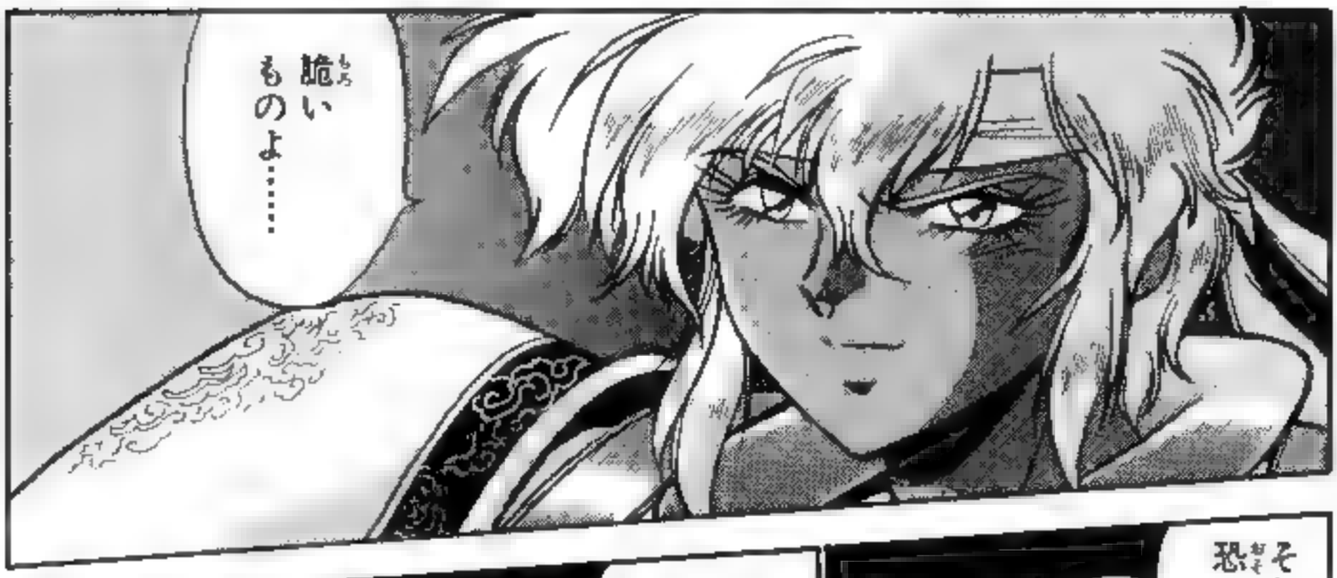
よせ！
停まらぬか!!


隊列を乱す艦は
攻撃するぞ!!

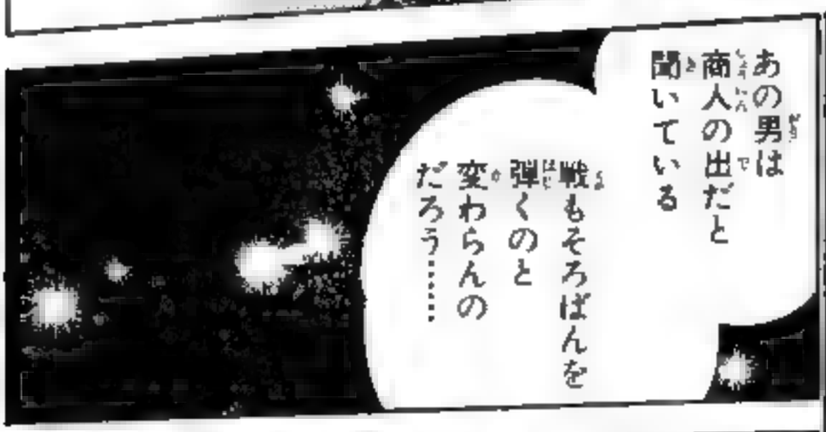

や…やむをえん!!
鼻先に
撃ち込め!!

おのれ
軍を乱すとは
不届きな！
わしが行って
締め上げて
くれる！
ならん!!
閣下…！
離散する兵士を
軍に戻す
ことなど
どんな
知将・勇将でも
不可能だ
万が一
押し留めても
もはや軍隊として
機能せぬ
無駄なことだ…!!


所詮は
にわか仕立ての
大軍団か……


脆い
ものよ……

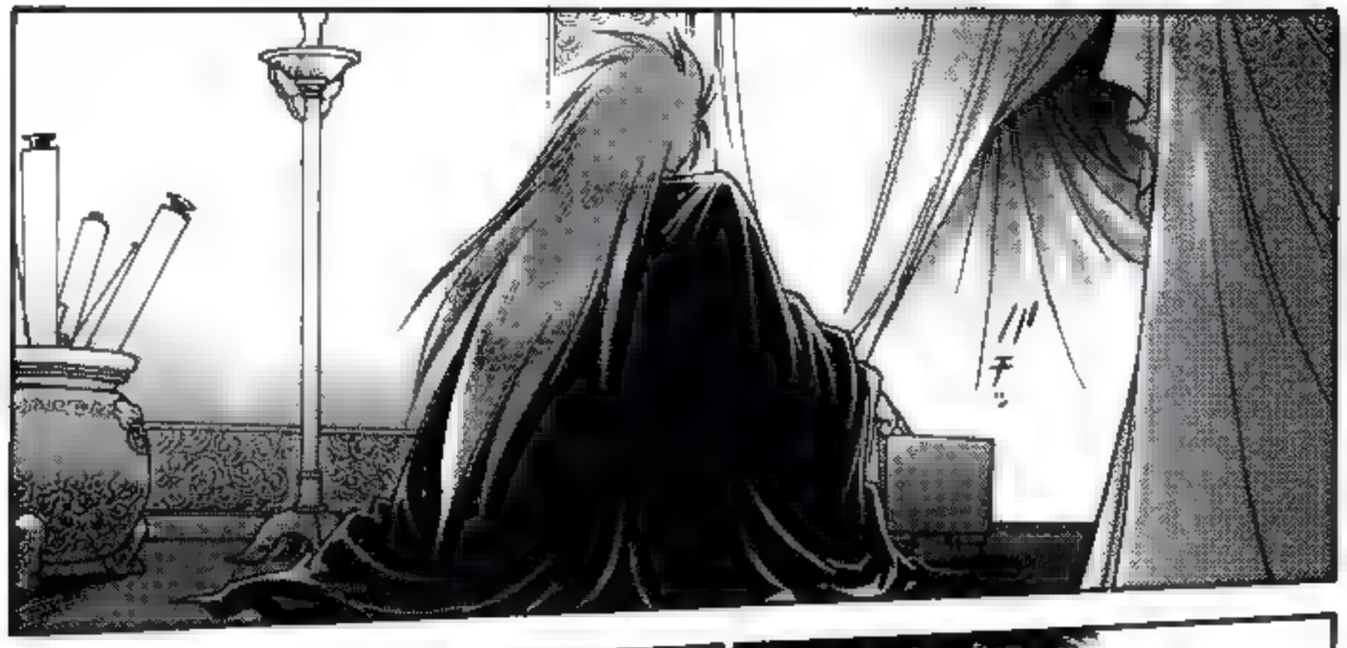
それにしても
恐ろしい男だな
大覚屋
師真とは……
はっ


あの男は
商人の出だと
聞いている
戦もそろばんを
弾くのと
変わらんの
だろう……

兵士の熱い血も
硝煙の臭いもない
あるのは数字
だけだ
兵士も将軍も
駒の一つにしか
考えておらん

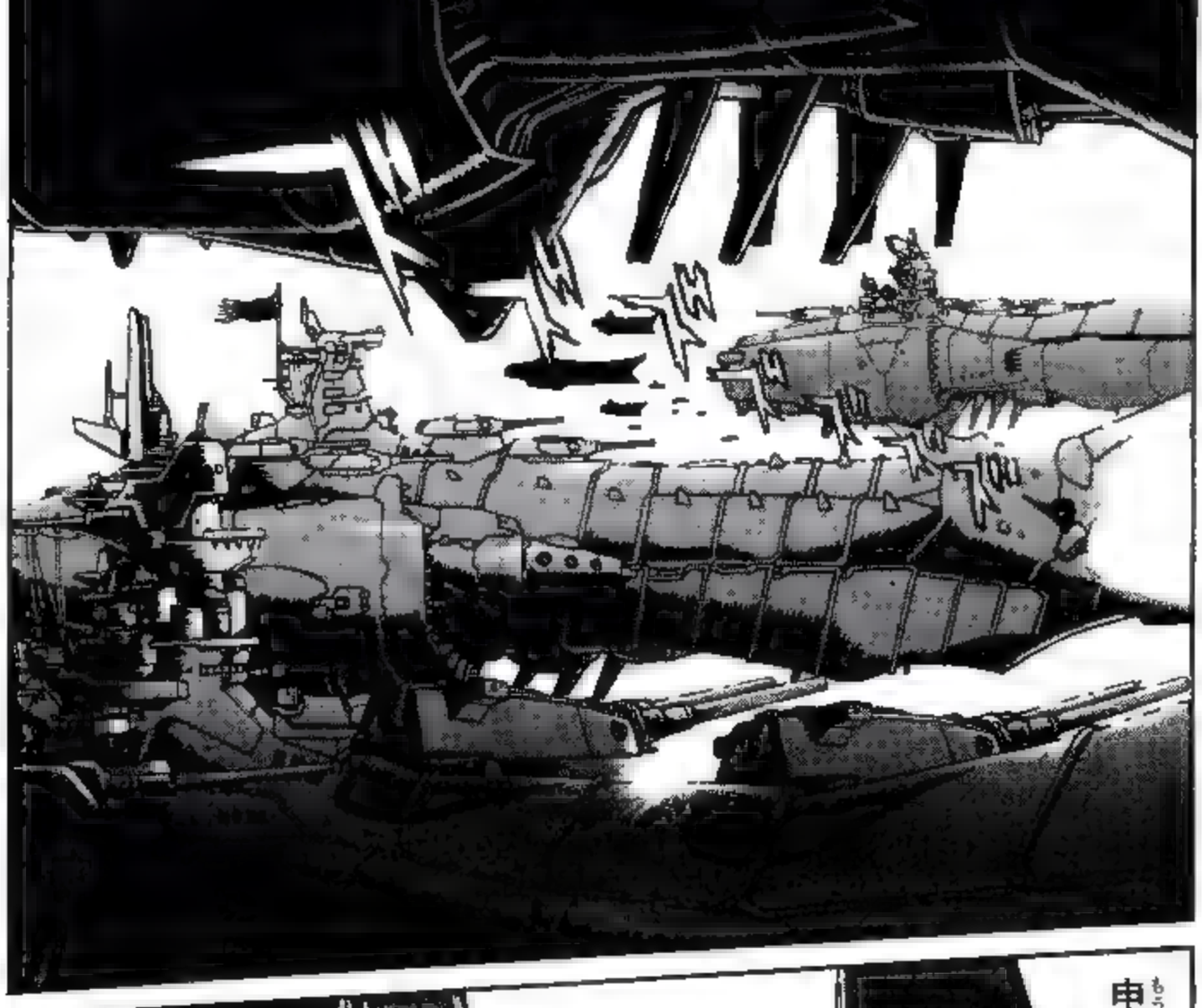
奴は
この銀河で
将棋を指して
いるのだ

そこには
感情など
入る余地もない
“理”と“法”が
あるのみ…
か……
我々は雷を含めて
奴の将棋盤の上で
戦っていたにすぎない
確かに
武将あがりの
策士では
そうはいきませんな
おもしろいではないか
その“理”の軍師と
“情”の雷が組んでいるのだ
駒としてか
人としてかは
わからんが……



詰み筋が開いた…!!
王将

あとは王将のみだぞ
雷



申し上げます!!

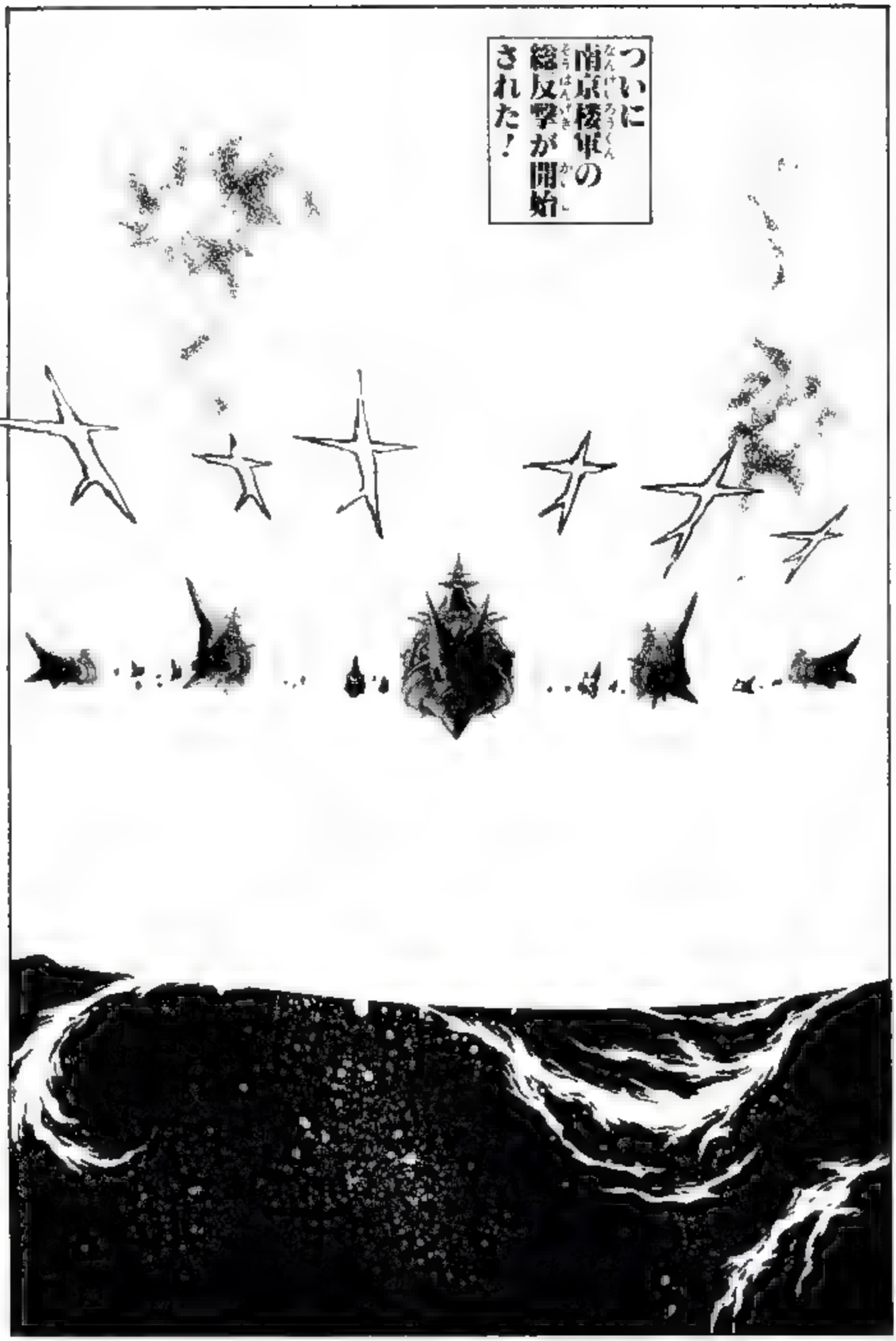
敵軍に
混乱が生じて
おります!!
中には
同士討ちも
見られます!!
将軍
おうっ!

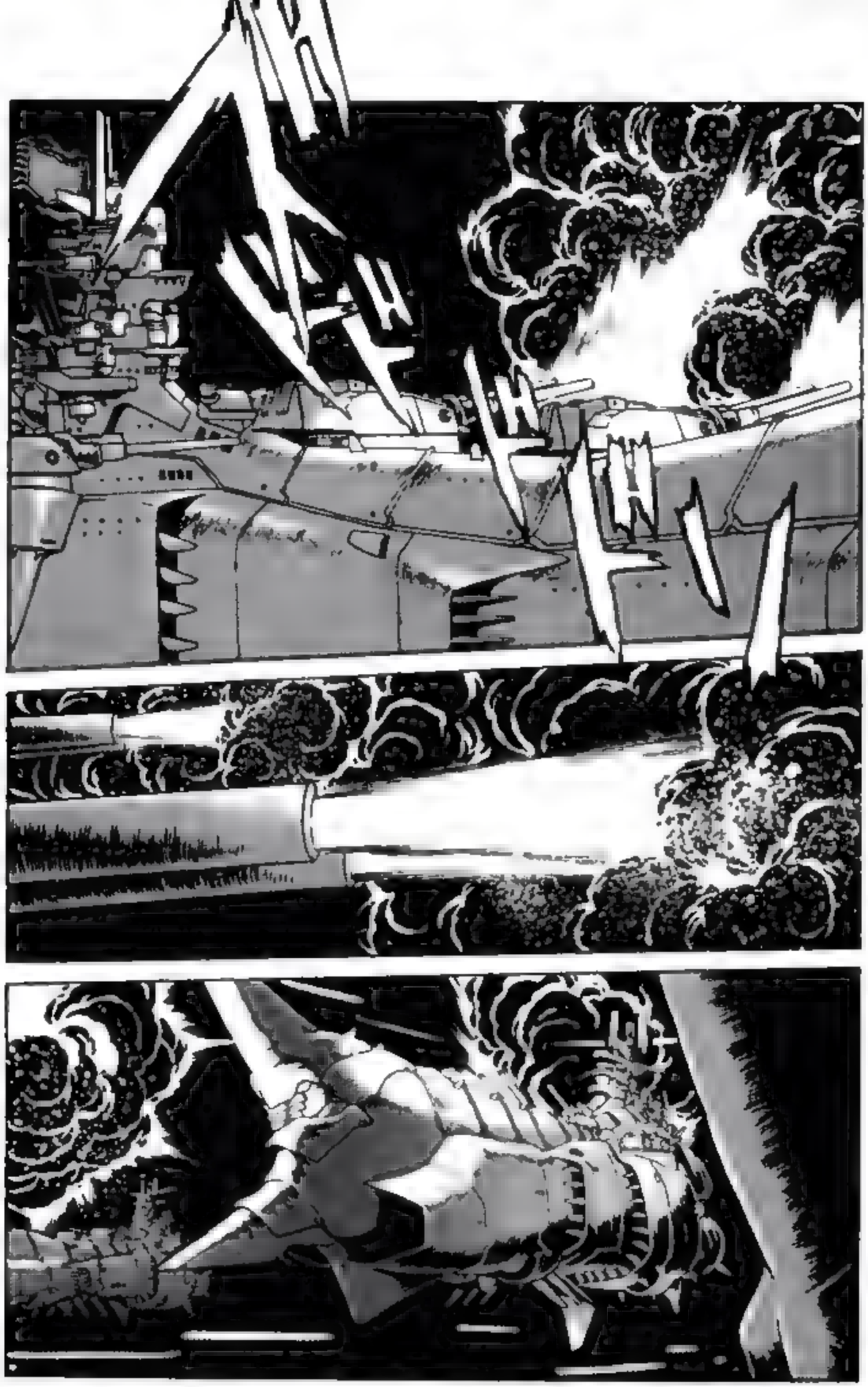
*深く感心してほめること

それは
全銀河だ!!

そこには
みんなが望む
全てがある!!
今一度
俺に力を
貸してくれ!!
全軍突撃
――っ!!

突撃だ!!
前進!!
行けいっ!!
突っ込め!!
目標は敵本陣だ!!


ついに
南京楼軍の
総反撃が開始
された！



緒戦とは違い
兵を分けずに
戦力を集中させた
南京援軍は
局地的に
圧倒的な兵力差で
前戦中央を突破し
狼刃の本陣近くに
せまった！

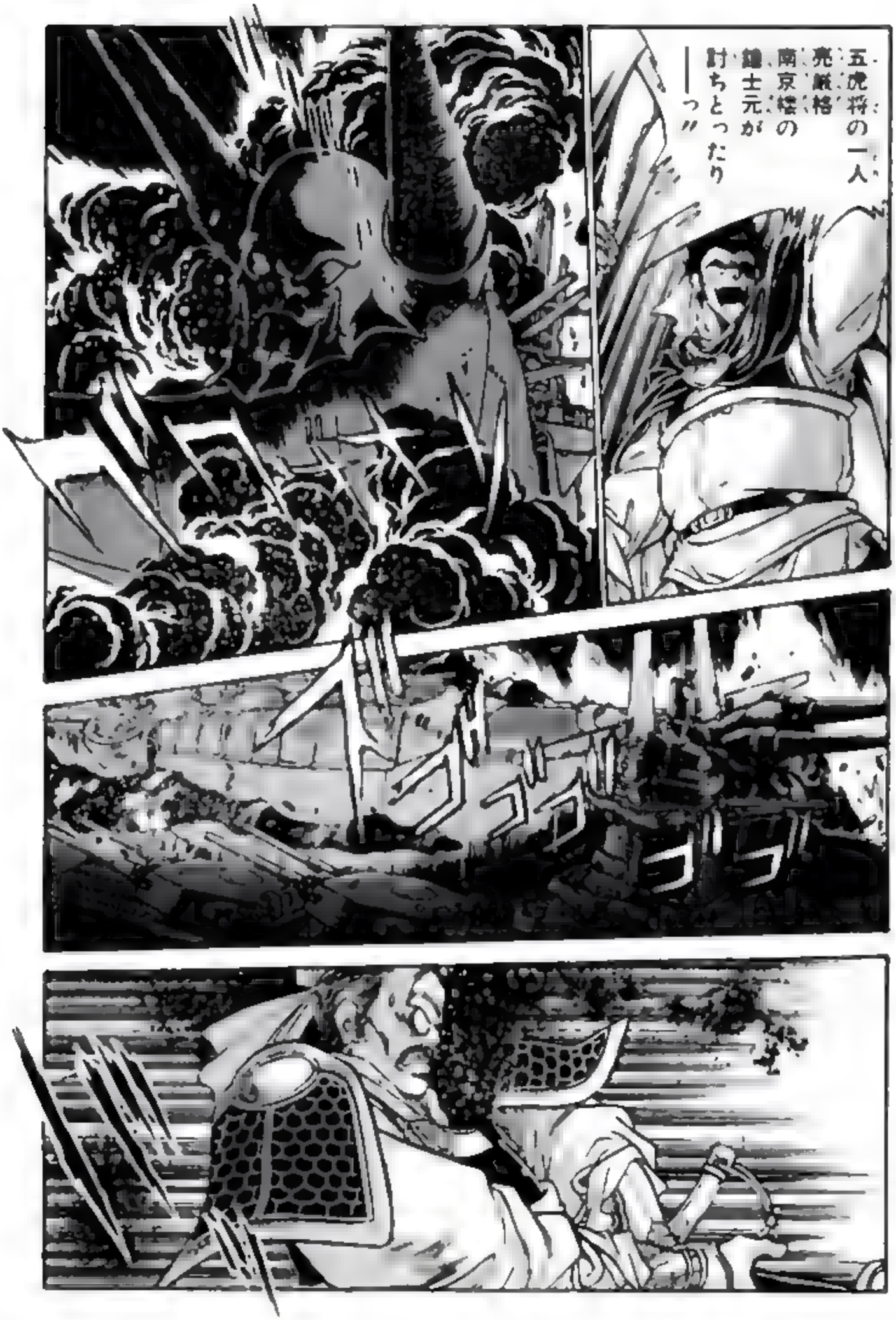
月で
織田軍の
脱落者は
増えていった
もともと
奥州潮の悪条件で
疲弊していた兵一は
自分の故郷が
襲われていると知って
すっかり戦意を
失っていた
待て!!
止まらぬか!!
…
兵法将とはいえ
自分の軍の
掌握に躍起になり
まともに戦える
状況ではなかった
ぬおおおっ!!

ええい
雑魚共!!
うせろ!!
精が出るな
亮厳格!
!!

だがまだ俺とやり合う力は残ってるだろうな!!
この間のケリつけるぜ!!
きさま……!
鏡士元!!
ぬかしたなきさまなんぞわしの相手になるか!!
そいつはこっちのセリフだ!!
うおおお!!

であっ!!

おまえといつまでも遊んでられねえんだよ!!
むん!
ぐわぁっ!!
ああっ!!
将軍!!


五虎将の一人
亮厳格
南京城の
鐘士元が
討ちとったり
――っ〃

白鬼将軍!!
ひいいっ
もうだめだ!
ま…まってくれ
降伏する!!
い…命ばかりは
お助けを……
くそうっ
もはや
これまで……!!
賊軍め!
武庸の死に様を
とくと
見るがいい!!

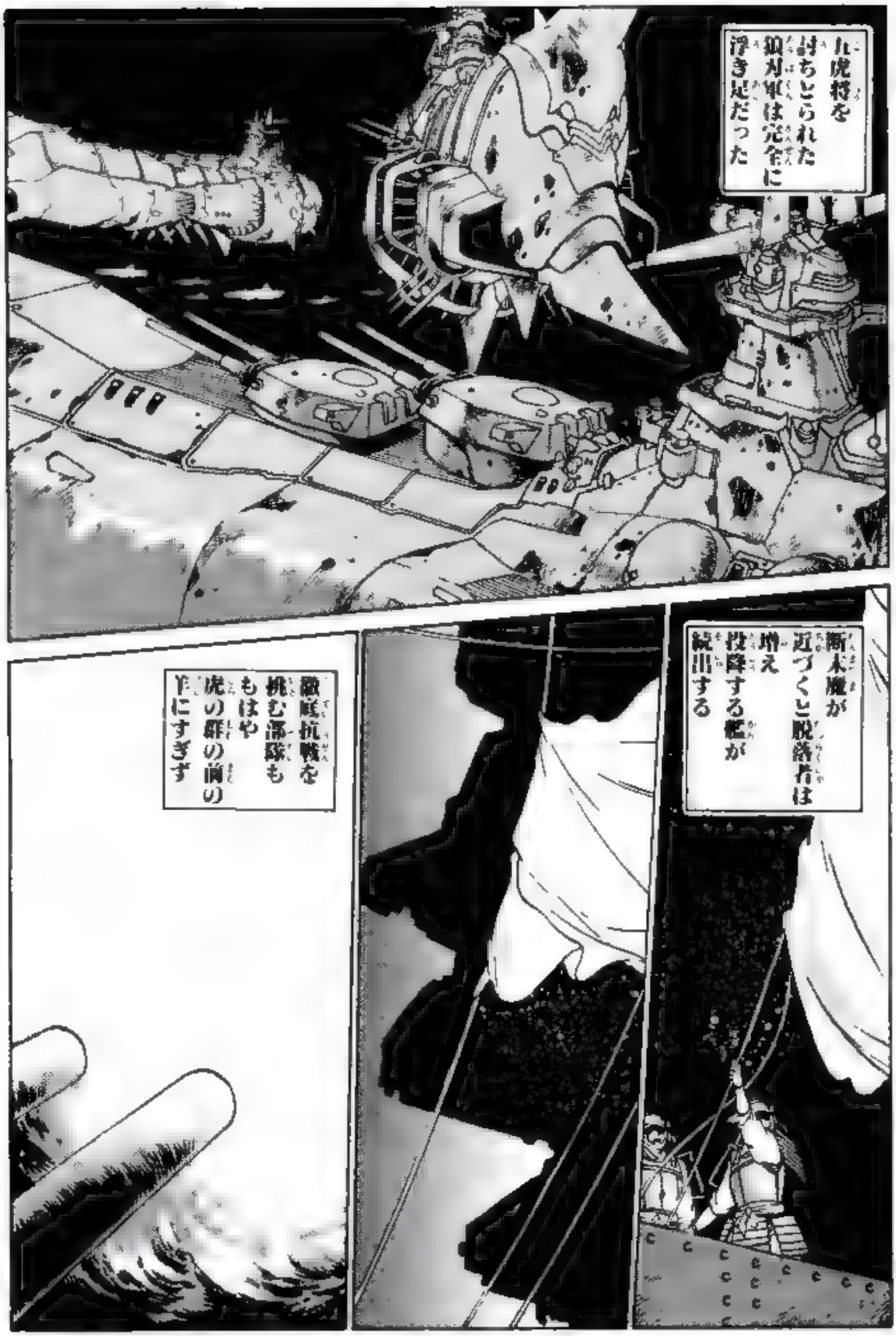
!!
きやがれ
俺が相手だ!!
けっ
南京楼の
若僧が!!

!!
くっ!!
若僧よ……!
我が首取って後代への誉れにするがいい!

将軍！
亮厳格・白鬼・
武庸 三将軍
討ちとられた
様子です！
もはや
これまで……
こうなれば
敵の手にかかるより
潔く自刃を……!!
ならん!!
自害は武将の
本意ではない！
目釘の折れるまで
戦って討死に
してくれるぞ!!
続け!!

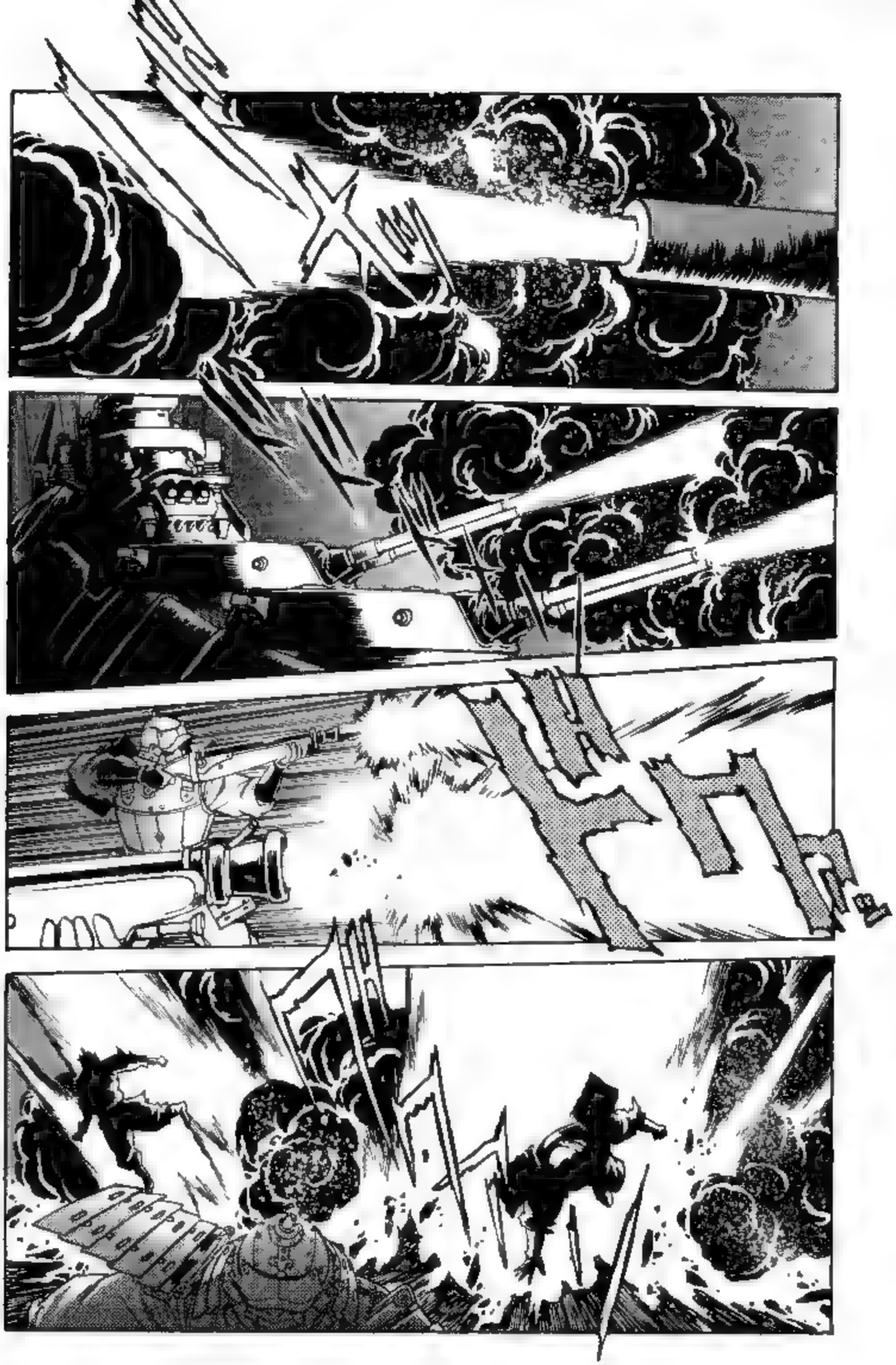
ぐわあああっ
ぎゃっ
ぐっ!!

捕えいっ!!
む……
無念……!!
征西将軍自鬼
鎮西将軍十政
安征将軍武頭
平西将軍魏相如
牙門将軍亮統格
騎当千を誇った猛将も
戦火の渦の中に
一人また 一人と
飲みこまれていく
運命からは
逃れられなかったのである……


五虎将を
討ちとられた
狼刃軍は完全に
浮き足だった
衰末魔が
近づくと脱落者は
増え
投降する艦が
続出する
徹底抗戦を
挑む部隊も
もはや
虎の群の前の
羊にすぎず

次々と
撃破され
金州海の
海底に
墜落とされた
琅刃軍残存兵力の
総崩れである

敗色濃い
狼月軍の中でも
さすがに軍団中核は
動揺せず
旗艦定遠を中心に
陣形を維持して
いた
彼らは
元は皇帝二軍団
として
狼月の許で
転戦した
精鋭の旧臣達
である
彼らは
狼月のために
文字通り
命を投げ捨て
南京機軍を
迎え討った！


X
HA
HA

両軍とも
死傷者が
続出したが
南京援軍は
結戦の勢いに
乗じて
じりじりと
狼牙軍を
圧倒してきた
今や
戦いは
乱戦となり
各軍の甲板は
屍の山と
なったのである
みなの者!!
あたしに続け!!

狼刃元帥!!
狼刃様だ!!
行けーっ!!

敵の大将だ!!
あれが大元帥猿刃か!!

ひ……っ!!
ぎぁあぁっ!!
待て待てっ!
この俺様が
相手するぜ!!
うちの
大将の露払いは
この項武様と
決まってるのさ!!

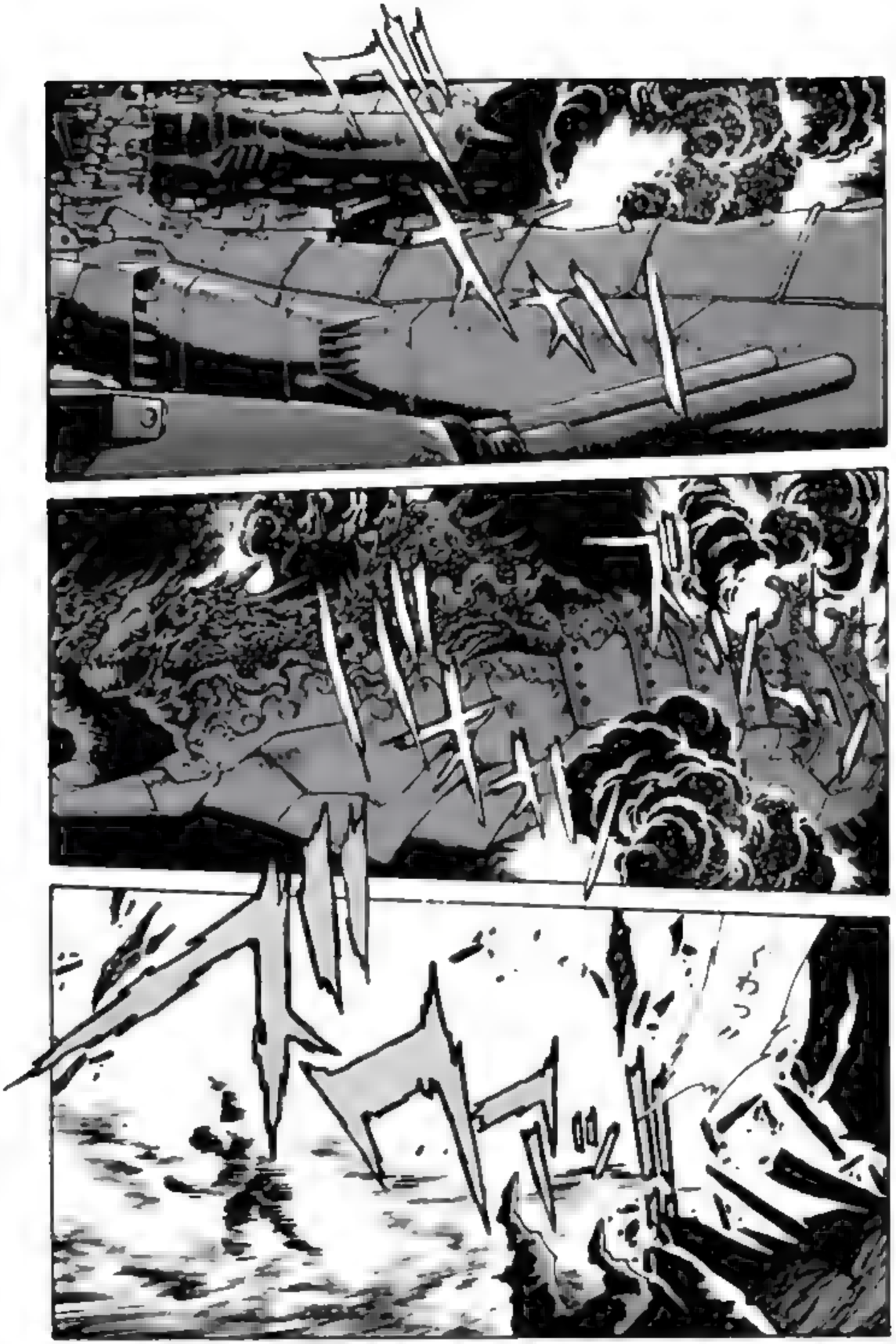
ふん
元気だけは
いいね
おりゃあっ!!
ふん!
うおっと……!
ほらあっ!!

ああっ!!
おまえじゃ
まだ相手
不足だよ
雷を
呼んできな!
くそっ!
覚えて
やがれ!
戦いは
半日にもわたり
会戦は七度に
及んだ

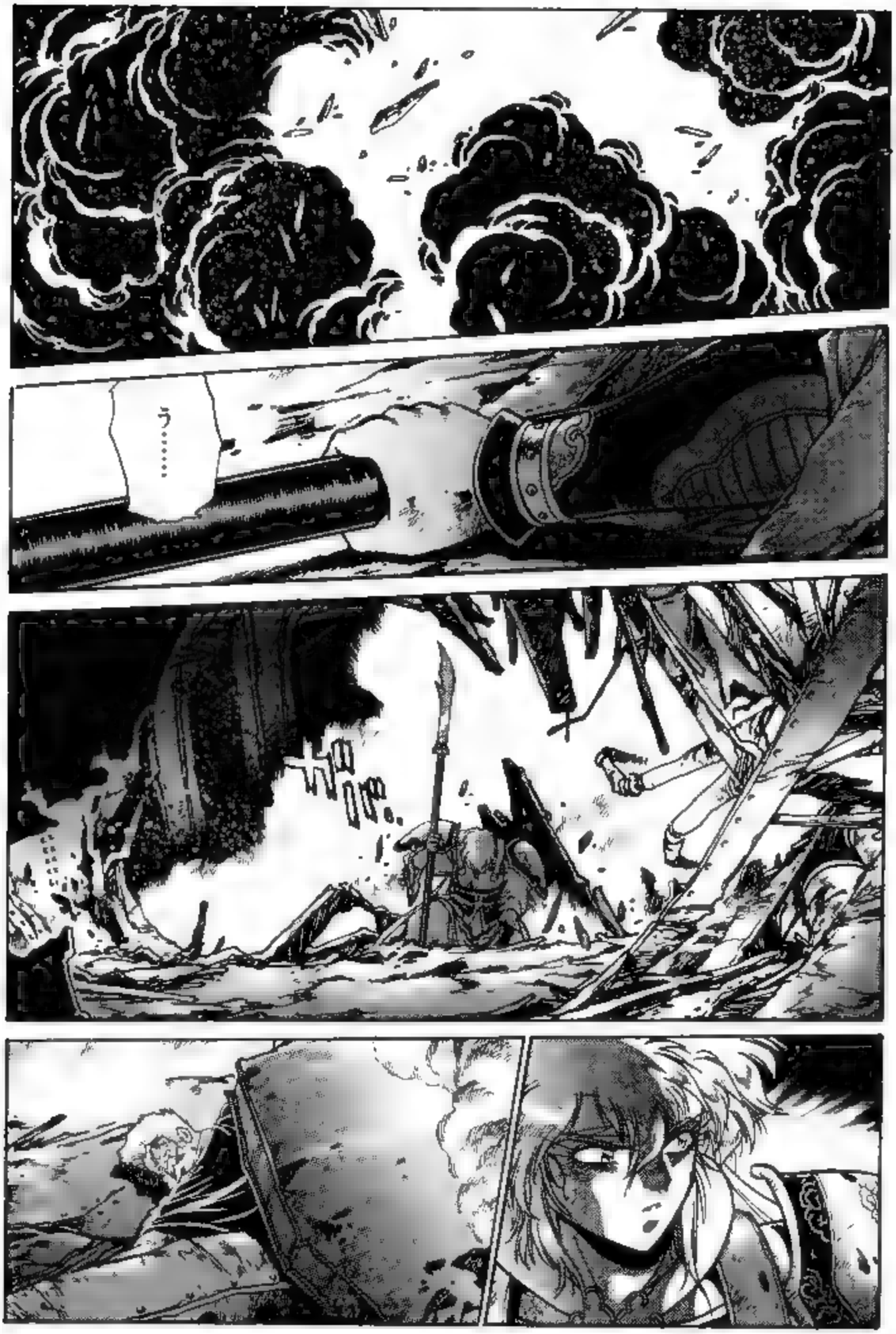
第二軍の将兵たちの
体を張った防戦も
南京侵軍の
勢いに抗しきれず
次々と
兵力をすり減らされ
南京侵軍の
重囲に陥った

南京攻略の将兵はよく戦っているな
兵の戦意は満ち采配も見事だ
これなら羅候も正宗も恐れることはない
憲生！
はっ！
今までよくこのあたしについて来てくれた

閣下……
五丈の国体維持と
五丈による
新帝国の創建……
それがあたしの
悲願だった……！
骸羅の許に
身を寄せ
屈辱の日々を
耐えてきたのも
今 五丈を崩壊
させないため
だった……
だが
もういい……
あたしのするべき
ことは終わった……
あたしには
若々しい新帝国の
足音が聞こえる
……
あたしの
闘いは終わった
のだ


くわっ

うおっ!!
蒲生(がもう)!!


う……

狼刃元帥!!

待ってたよ
雷……!!

南京楼軍
総大将
竜我雷！
敵総大将と
雌雄を決するべく
まかりこした！

勝負!!

いいだろう……
相手にとって
不足はない!

どうした
こないのか!?

……!!
くるんだ!!
うおおおおお!!

十
十
十
ううおおお…!!

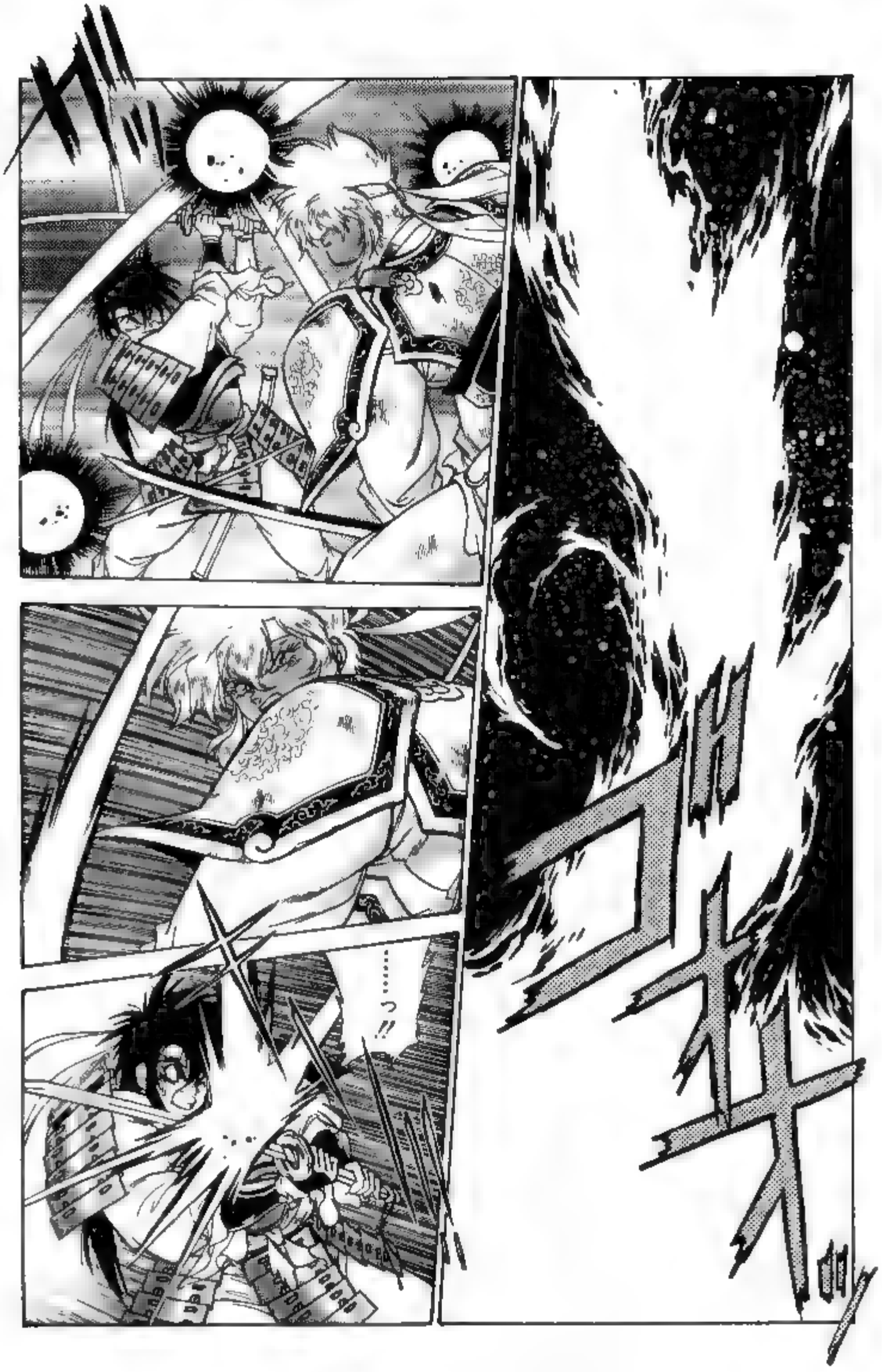
カッ
カッ
カッ
うおっと…！

くっ……
本気にならないと首が落ちるぞ雪！

がっかりだよ
ぐっ!!
あたしが
目をかけてやった
男が
この程度かい?
悲しいね!!

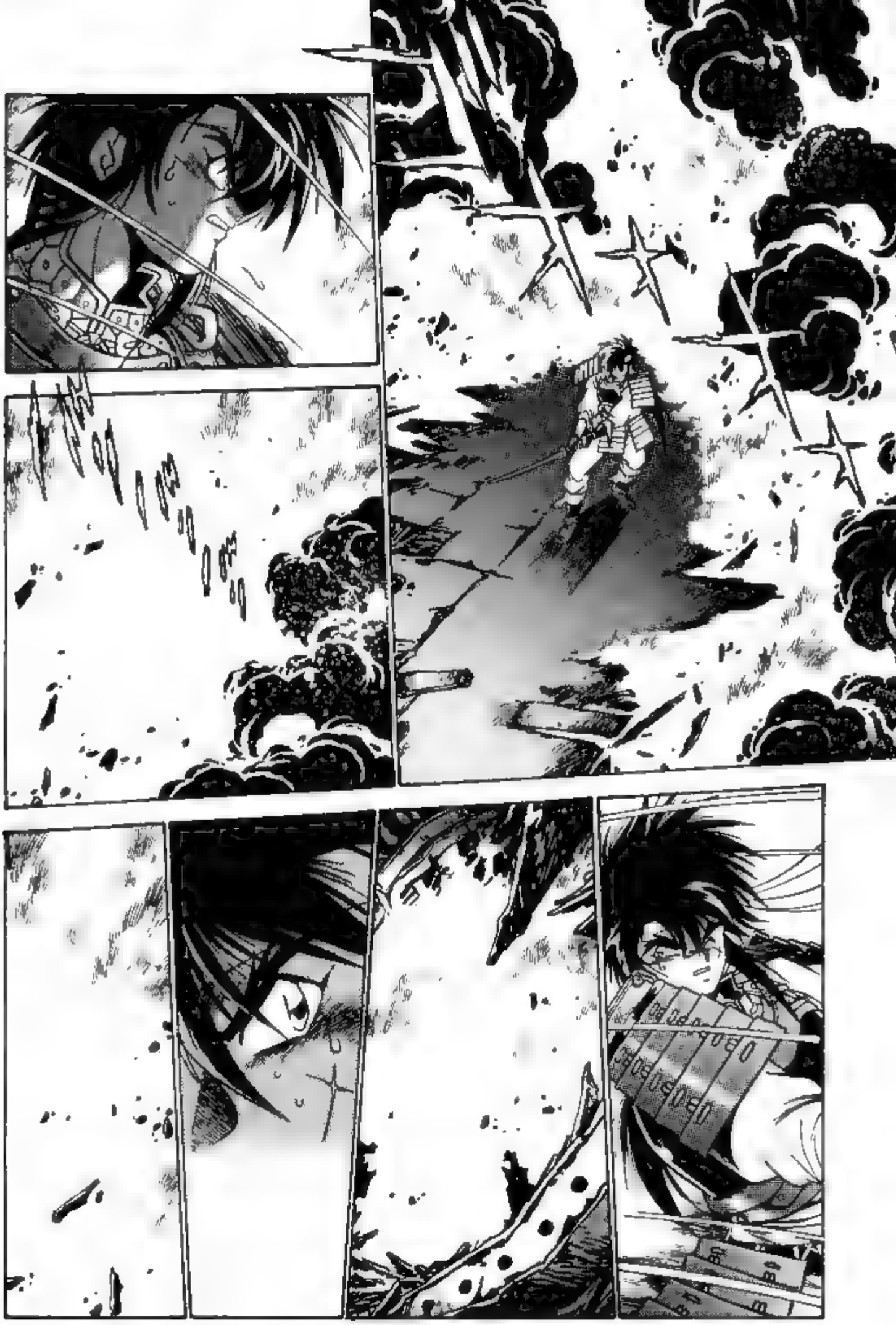
うっ!!

本気になったようだね！
うれしいよ！


……っ!!

うわぁっ!!

狼刃元帥…!?



ちったあわかったかい…！
世間知らずのボーヤ!!
師団を指揮したくはないか？

そう
竜が大海に
放たれるのさ
嫁さん
泣かすな……
大事にして
やれよ……！

くっ……!!
!!

強くなったな……
雷(ライ)……!!

見事だ……
バカやろう
泣く程がある？
あたしとおまえは
お互い精一杯
戦ったんだ
何で泣くことがある？

雷！
戦え！
勝者は
戦い続けなくては
ならん!!
戦って
戦い抜いて
おまえの夢を
果たせ！
必ずおまえの
夢を果たせ!!
狼刃様…！

最期に
一つ……
餓羅に早く
引導渡して
おやり
そして狼刃が
こう言ったと
伝えてくれ……
あんたには
鎧袍の重量は
似合わないってね
地獄に来るなら
共に酒を飲もう
と……

*貴族の代表的衣服

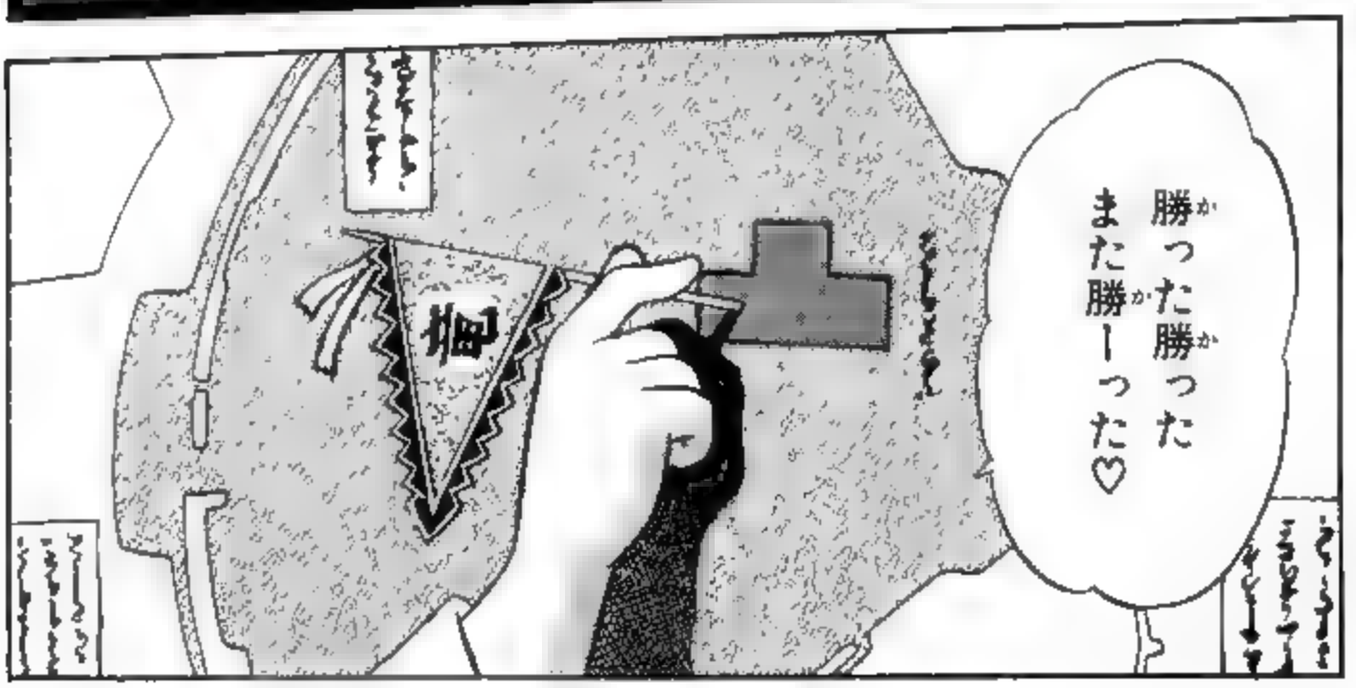
お別れだ雷…！
精進するんだよ……
狼刃様!!
狼刃様――っ!!

お屋形様……
狼牙ただ今
お屋形様の許に
参ります……

お屋形様の夢……
今一人の若者に
託しました……
おたしい
長い戦いも
これで終わりです……
ガックと終わった……

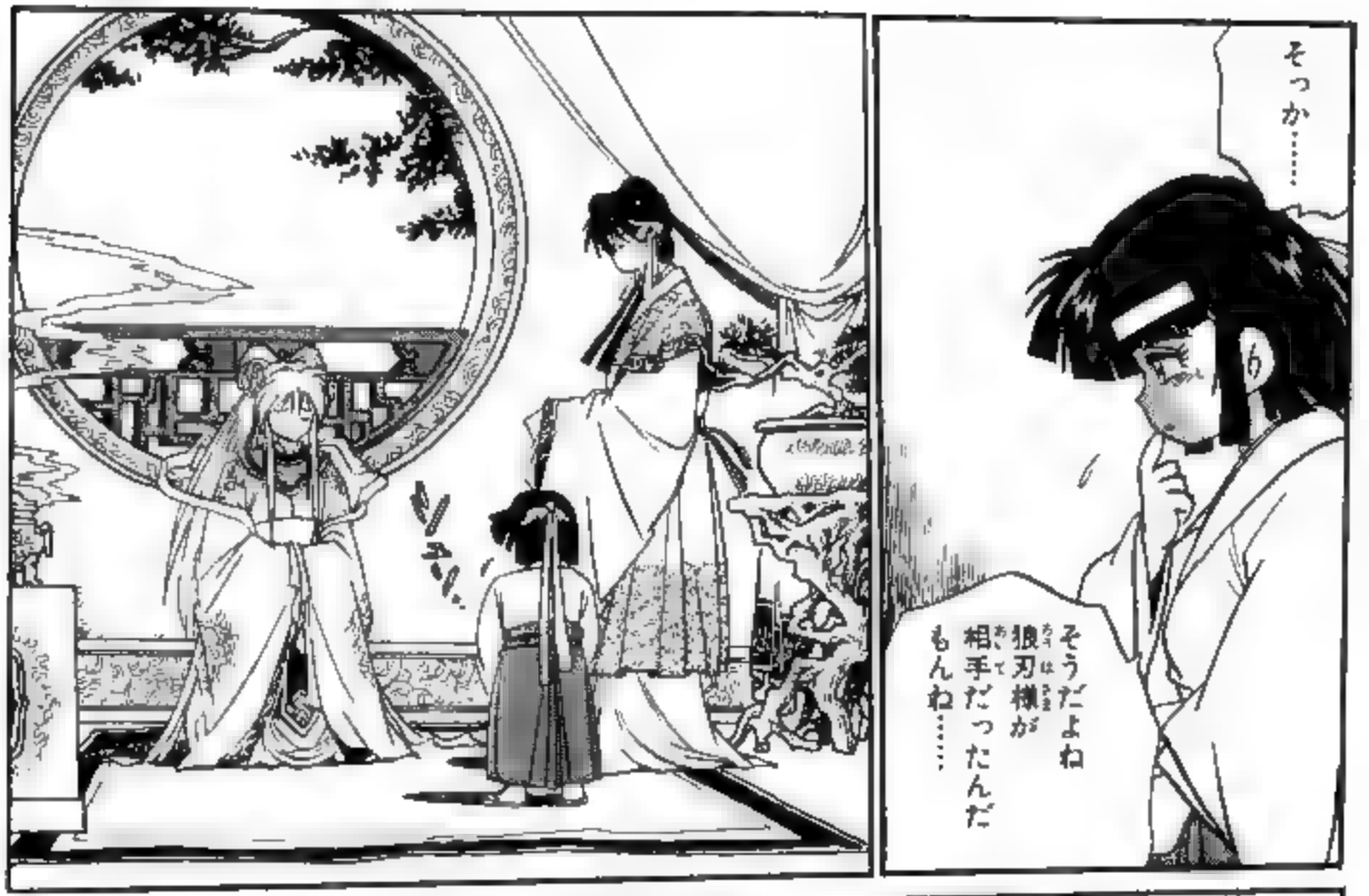
夢だと……
俺の夢がなんだってんだ…!!
俺一人生き残って果たす夢なんざ……

あ
あ

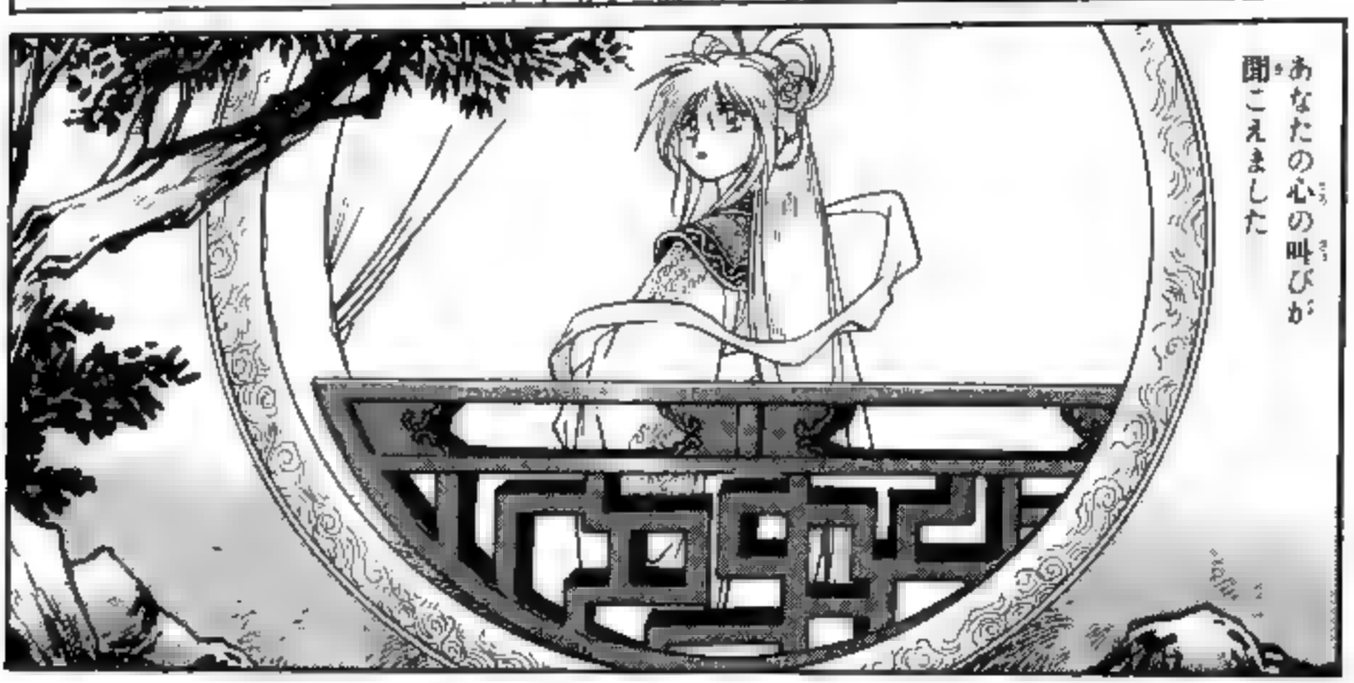

勝った勝った
また勝ーった♡

すっごいですねー
姫様！
雷様
また勝ったんだ！

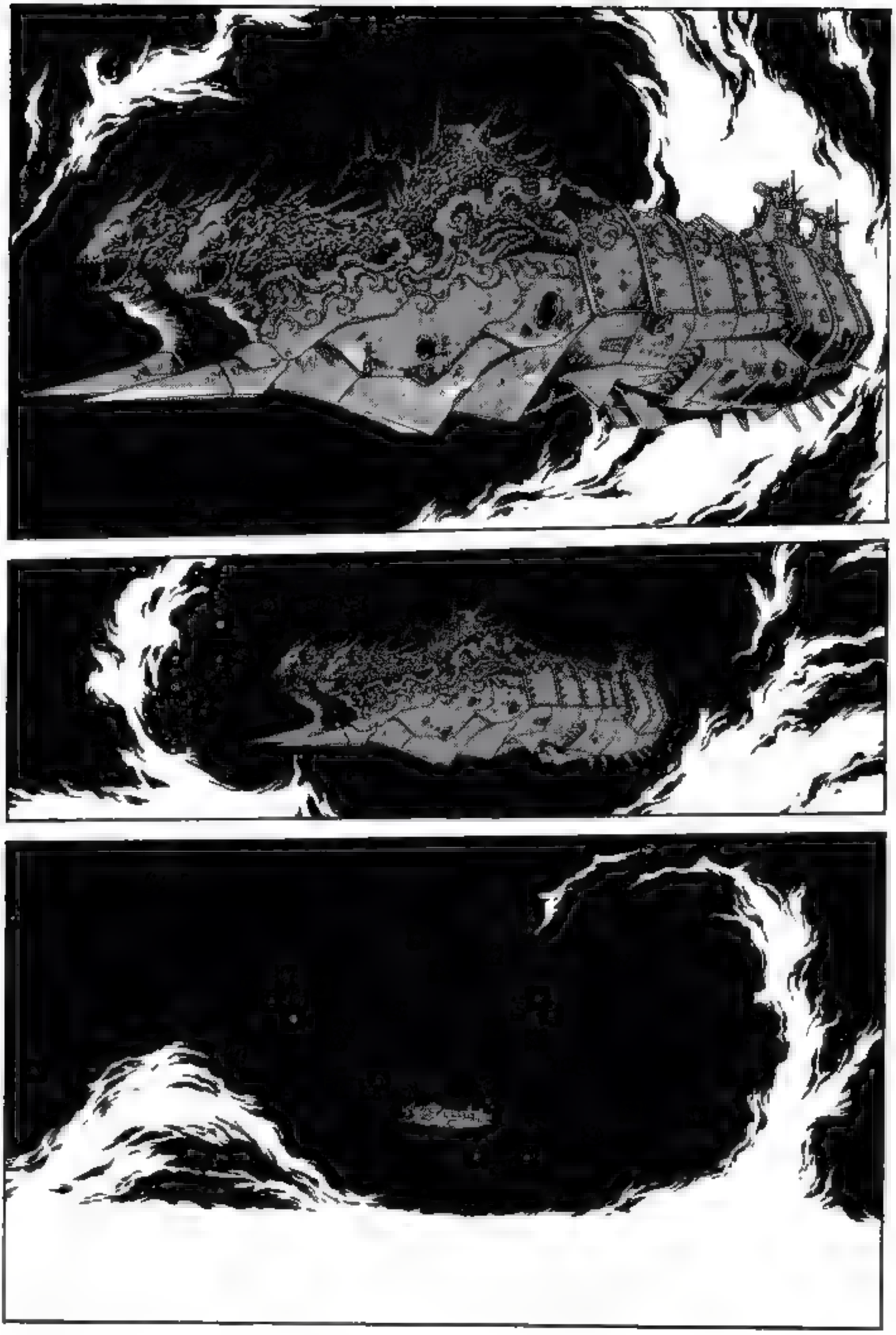
もうすぐ
あの
けむくじゃらも
おしまいだね！
ほ――んと
雷様
強い！
ええ……
いかがなされましたか
奥方様
そういえば少し
お顔の色が
すぐれぬよう
ですが……
いえ
大丈夫です
梨扇
ただ
将軍の
お気持ちを
考えると
喜んで
ばかりは
いられなくって
……

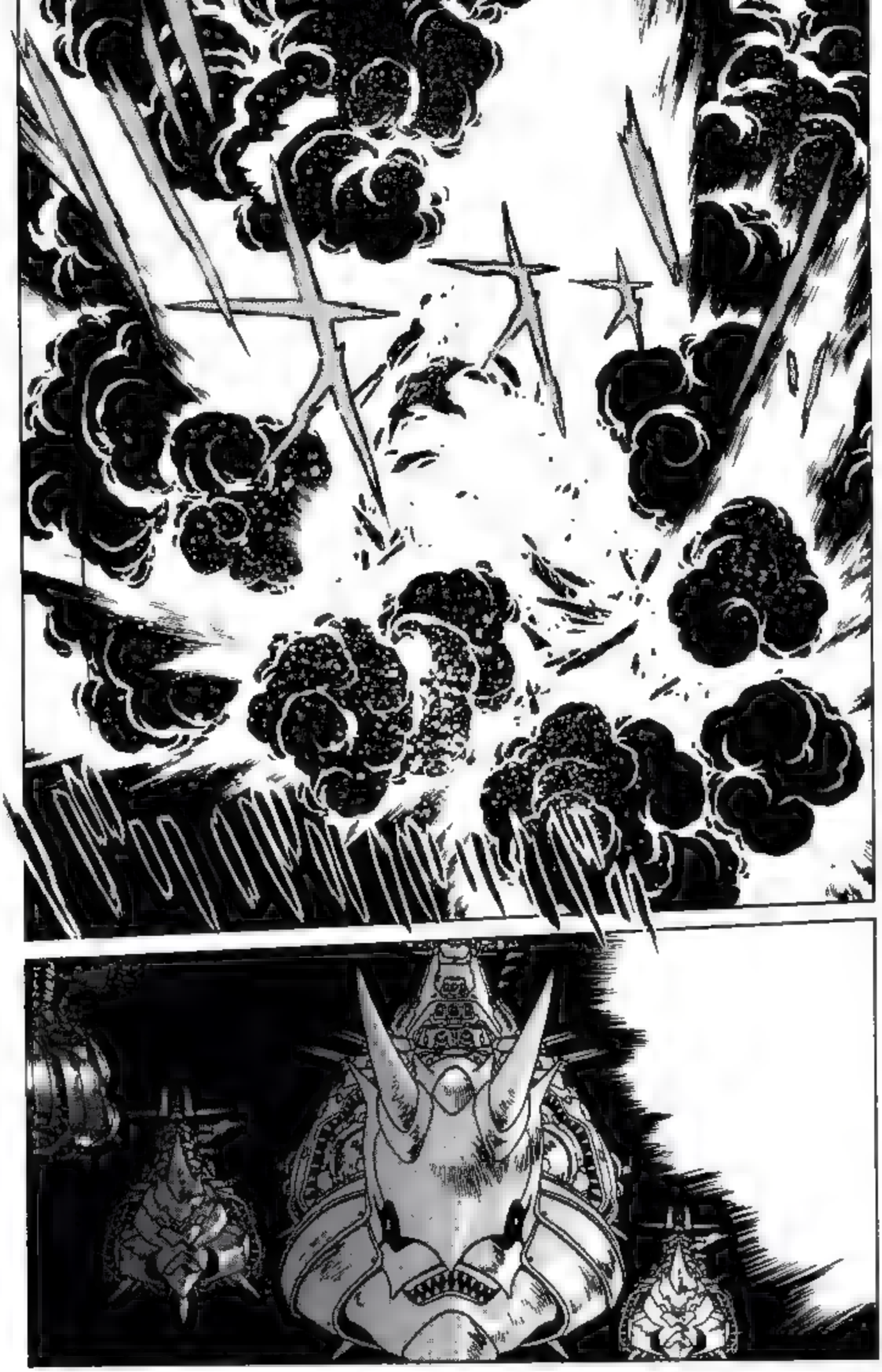

そっか……
そうだよね
狼刃様が
相手だったんだ
もんね……

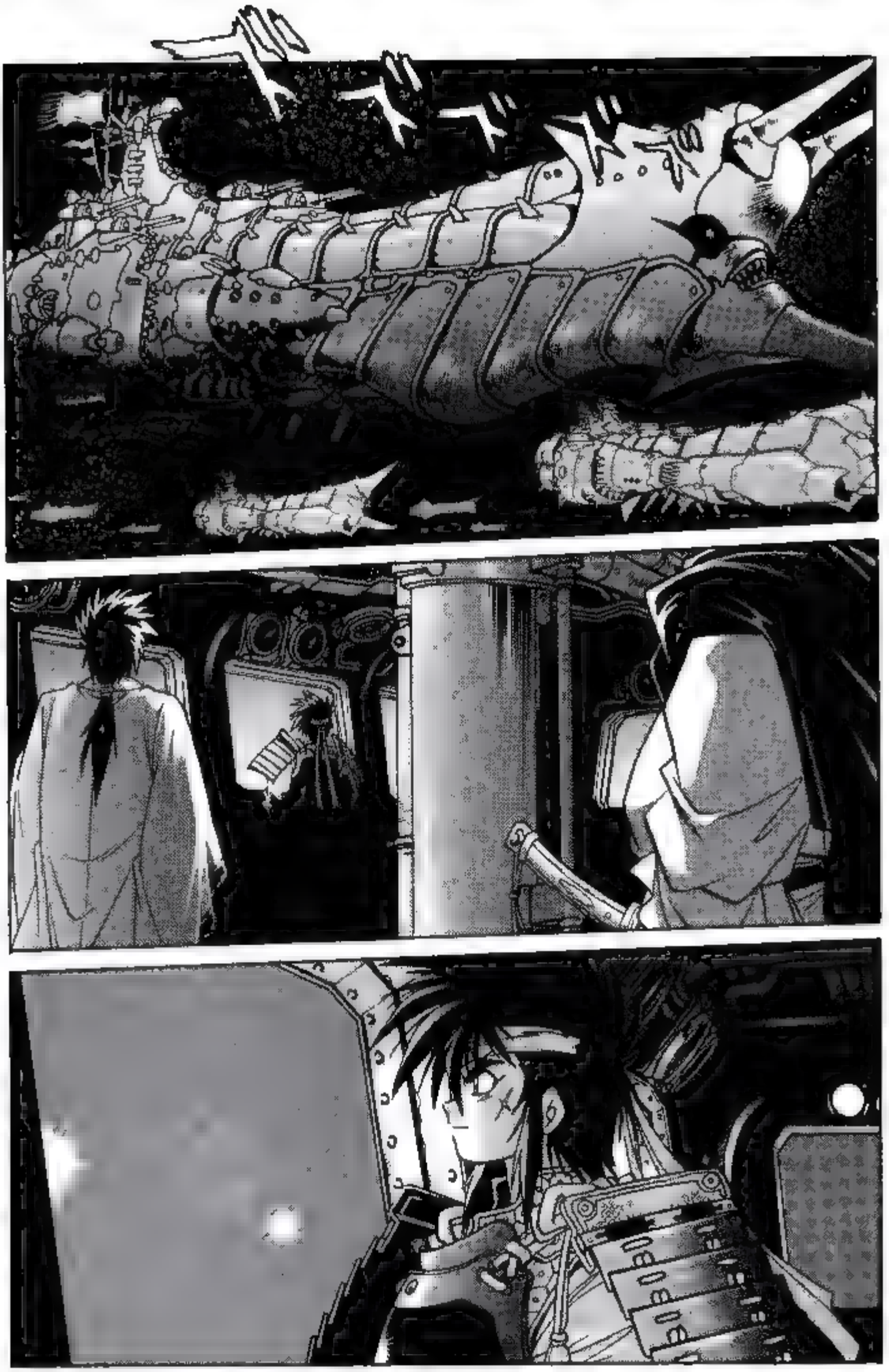
雷…
さぞかし
つらい戦い
だったのでしょうね…


あなたの心の叫びが
聞こえました

雷……





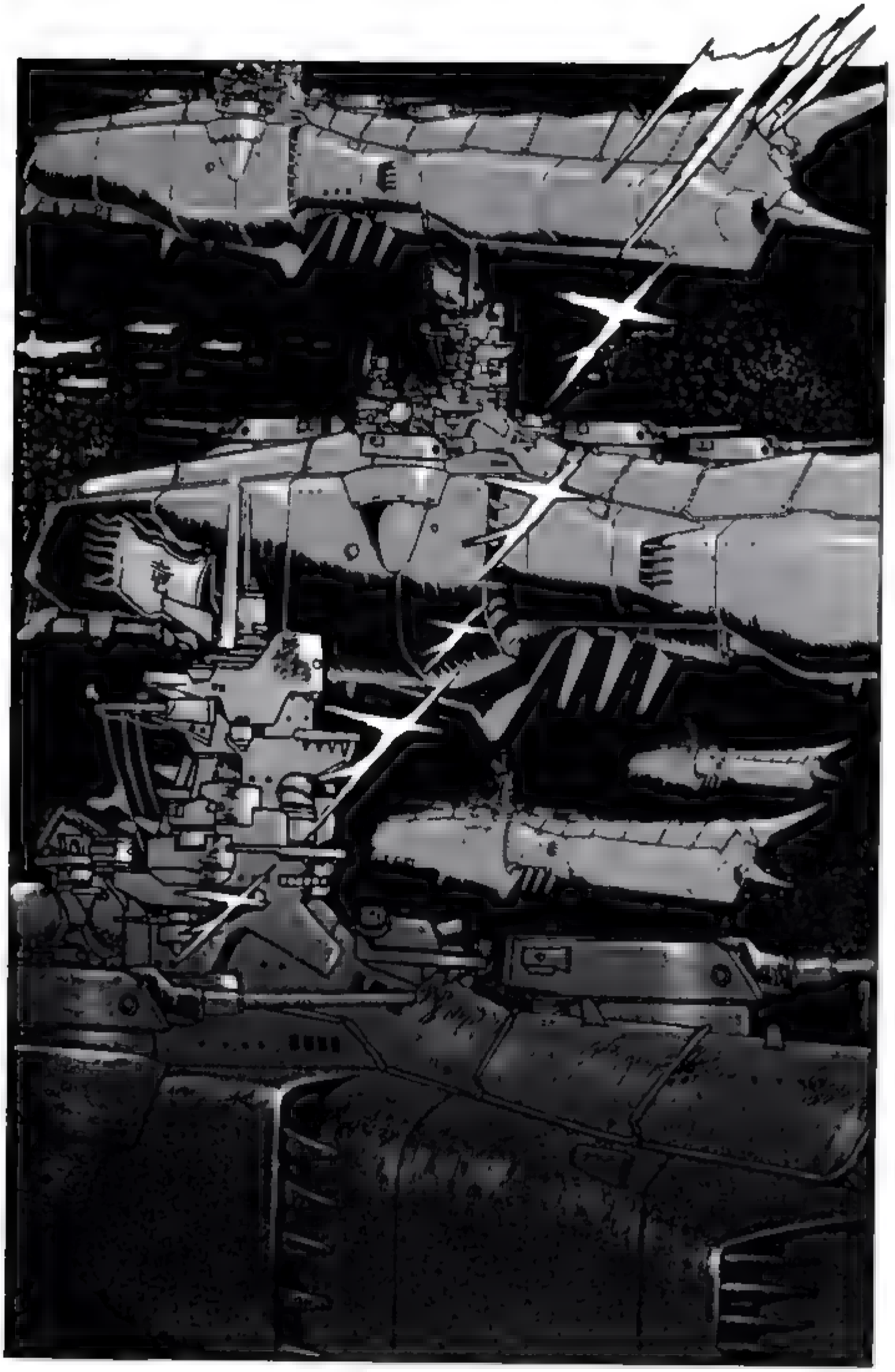


将軍
孟閣……
つれぇ
お気持ちは
よくわかります
けど狼刃元帥は
全てをなくして
悲しみながら
亡くなられた
わけじゃ
ありません
将軍と
出会い
まもなく
この銀河に新しい
帝国が
生まれるのを
予感して
喜んでおられると
思います

この度の
出兵を将軍が
決意された時
元帥もまたお覚悟は
出来ていたはずです
気に
病まれては
いけません
将軍には
天下を取る
という使命が
ありましょう
生あるものは亡び
亡びて生をうける
といいます
死んでいった者たちの
御霊がまた
この世に生まれ変わる
時のためにも
将軍は事を
成さなければ
なりません
孟閣
よく
言って
くれた……！
はっ

お前の言う通りだ
俺は間違っていたのかも知れん
だが立ち止まったのは許されん
俺の迷いが天下万民の平和を遅らせ
また多くの人間を死なせる……!
戦え!戦え!お前の夢を果たせ!
必ずお前の夢を果たせ!!
!!

狼刃元帥…
あなたの死は
決して無駄じゃ
ありません…！
将軍は
また一つ
成長なされ
ました
！
天下人として
全銀河の
命運を担う
重さを
今……
感じておられます……！



竜
それから
数日後……
隠密行動を
取っていた
雷の軍師
大覚禅師真が
ひっそりと
旗艦金剛に
帰って来た

お帰りなさいませ
ご無事で何よりです
雷は……将軍はお休みか？
知らせてくれりゃ迎えに行きましたものを
こんな夜中じゃ何にも用意できてませんぜ
あ――そんな面倒なことはいいよ
はっお疲れのご様子で
早くに床についていただきやした
そうか

軍師!!
おう 林か……
今回は よくやってくれた お前も そして 将軍に推した俺も 鼻が高いな
い…いえ そんな 身に余る 光栄です
孟閣 軍の損害状況と 戦闘能力が 知りたい 資料を俺の 部屋に 届けてくれ
寝る前に 目を通しておく
わかりやした
じゃあ また 明日な
あ…… あの――

何だ林？
実はおりいってお話があるんですが……
話？
それじゃ資料をお持ちしやす
まここじゃ何だ俺の部屋に来い
はい

雷が!?
はい
将軍は
この度の戦いで
いろいろお心を
傷められたようです
あ……
もちろん
天下取りの意志を
強め
頼もしく見えて
いますが
そのお心は
ひどく
傷つかれていると
思われます
……
何しろ
狼刃元帥とは
まさに親子にも
似た思いが
あられたはず
それを思うと……
で
俺に
どうしろと
いうんだ?

そいつは
将軍の心の
問題だ
俺たちが
口をはさむ
ことじゃない！
た…たしかに
家臣が将軍の
お心に立ち入る
ことは許されません
しかし軍師様は
別です！
将軍と
軍師様は
主従という
立場を越えた
間柄です
ぜひ
将軍に
お声をかけ
はげまして
いただきたい
のです！
俺と雷は
将軍とその軍師
という間柄だ
それ以上でも
それ以下でも
ない！

くだらねえこと
言ってねえで
お前も
よくこいつに
目を通しておけ！
……
失礼
いたします
冷たい
お方だ……
何か
言ったか!?
……

狼刃は
よ!!
狼刃の死に号泣する骸羅…
どこから現れた
玄偉の本心は?
今の今になって……
あの男が
生きていたとは……
玄偉……!
そして
新たな勢力が
介入してくる
西光の
業禹でござる!

第11巻（95年春発売予定）を刮目して待て!!

Dengeki Comics

銀河戦国群雄伝ライ ⑩

1995年1月30日　初版発行

著者　真鍋譲治

発行者　角川歴彦

発行所　株式会社メディアワークス　〒101　東京都千代田区神田神保町2-22-11　カンナビル　電話03-5276-2433(編集)

発売元　株式会社主婦の友社　〒101　東京都千代田区神田駿河台2-9　電話03-3294-1130(営業)

装丁　朝倉哲也+design CREST

印刷・製本　大日本印刷株式会社

©JOJI MANABE 1995

R本書の全部または一部を無断で複写(コピー)することは、著作権法上での例外を除き、禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター(03-3401-2382)にご連絡ください。

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

初出／月刊電撃コミックガオ！'94年2月号～7月号(メディアワークス刊)

ISBN4-07-301569-9 C0979